

平成28年度

教育要覧

小川町の教育

小川町教育委員会



町章

●町章について／小川町は、和紙の産地であるので「小」の字を絵巻風に作画し、将来における町勢の力強い飛躍発展を末広がり表現。「川」は住民の和合・円満あわせて清流を象徴したものです。

(昭和50年1月23日制定)

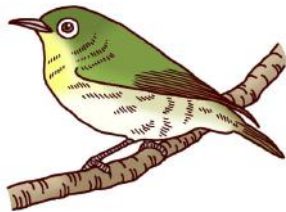
小川町民憲章

わたくしたちの小川町は、恵まれた自然環境の中で、古くから産業をはぐくみ、ゆたかな伝統と歴史をもっています。

わたくしたちは、この町に住むことを誇りとし、力を合わせて、より明るく豊かな住みよい郷土をつくることを誓い、ここに町民憲章を定めます。

- 1 自然を愛し 環境をととのえ
美しい町をつくりましょう
- 1 きまりを守り 互いに助けあい
明るい町をつくりましょう
- 1 教養を高め スポーツに親しみ
心ゆたかな町をつくりましょう
- 1 勤労をとうとび 産業をおこし
伸びゆく町をつくりましょう
- 1 としよりを敬い 若い力を育て
平和な町をつくりましょう

昭和57年4月28日制定



めじろ (町の鳥)



けやき (町の木)



福寿草 (町の花)

目 次

I	小川町の概要	1
II	小川町教育委員会	2
1	教育委員会	2
2	事務局組織と事務分掌	3
III	小川町教育行政重点施策	4
*	平成28年度小川町教育行政重点施策	4~10
1	生涯を通じた多様な学習活動の推進	11
2	生きる力をはぐくみ確かな学力を身に付させる学校教育の推進	15
3	豊かな心を育て、人権を尊重する教育の推進	17
4	学校経営改革、安心・安全な学校づくりと教育環境の整備	19
5	家庭・地域の教育力の向上	20
6	伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造	23
7	健康の増進とスポーツ・レクリエーション活動の振興	26
IV	教育機関・教育施設	29
1	町立小・中学校	29
2	教育相談室・広域適応指導教室	34
3	学校給食センター	35
4	町立公民館	36
5	町立図書館	42
6	社会体育施設一覧	44
V	教育関係資料	45
1	小川町教育の沿革	45
2	教育予算	46
3	児童・生徒等	49
4	学校医・学校歯科医・学校薬剤師	50
5	各種委員会等委員一覧	50
6	文化・教育団体（補助団体）	53
7	小川町内所在の指定文化財	56
8	小川町教育・文化施設等一覧	58

I 小川町の概要

<沿革>

小川町は埼玉県のほぼ中央部に位置しています。町域の南部と北西部が山地、北東部が丘陵や台地で、槻川・兜川の二河川が西部の山地から東流し盆地を形成しています。山林が町域の6割を占め、市街地は盆地内の中央部に広がっています。

このような自然景観に恵まれた本町は、縄文時代の前期から中期にかけての平松台遺跡をはじめ、槻川・市野川を望む台地上に太古の人々の生活の痕跡を認めることができます。古墳時代になると穴八幡古墳など20基あまりの古墳のほか、数か所の集落跡が確認されています。

奈良・平安時代の遺跡は各所にみられ、町域内に広く人々が住んでいたことがわかります。

鎌倉時代になると、市野川に沿って鎌倉に通じる「鎌倉街道上道」が整備され、その遺構が残されています。文永6年(1269)には、鎌倉の僧仙覚が小川町増尾周辺に比定される比企郡北方麻師郷政所において万葉集の注釈書を完成させました。竹沢地区はこのころ竹沢郷と呼ばれ、『太平記』に登場する竹沢氏という武士の領地でした。また、下里・青山板碑製作遺跡は中世に関東地方を中心に広く流通した武蔵型板碑の製作遺跡として貴重であり、国の史跡に指定されています。

室町・戦国時代になると、山内・扇谷両上杉氏の抗争がおこり、長享2年(1488)と明応3年(1494)の2回にわたり、高見原の合戦が行われています。こうした中で、腰越・青山・高見・高谷等の山城や砦が築かれました。また、このころの町域は扇谷上杉氏の重臣上田氏の勢力圏となったと考えられ、同氏は小川に在郷していたという記録があります。その後、この地方は後北条氏の領国となり、上田氏もその重臣として松山城(吉見町)の城主となりました。

江戸時代初頭には、奈良梨が大名の諏訪氏の領地となり陣屋を構えましたが、2年後に群馬総社へ移りました。その他の村々は、旗本知行地や幕府直轄領でしたが、幕府直轄領の村々の多くは、のちに旗本知行地に移りました。

また、市街地中心の小川村は、江戸から秩父に至る秩父往還「川越通り」と八王子から上州に至る道の交差点にあたっていたため、物資の集散地として繁栄し、毎月1と6のつく日に市が立てられました。

このころ、特産物の和紙は漉屋が426軒にも及ぶ一大生産地となり、また小川素麺も近国まで名が知られ、それぞれ仲買商人によって江戸をはじめ各地へ販売されました。

明治22年の市制・町村制施行により、小川町・大河村・竹沢村・八和田村が成立しました。なかでも小川町は人口も多く、産業・商業の町としてだけでなく、郵便局・登記所・警察分署・高等学校・私立銀行2行が設置されるなど、比企西部における中心地として繁栄していました。

昭和30年には、旧4町村の合併時により新たに小川町が成立し、翌31年1月に寄居町の一部が編入となり、現在の町域が確定しました。合併時には25,000人前後の人口が、昭和50年代以降大型住宅団地が造られ人口が1万人も急激に増加となりました。これにより、学校教育施設も、東小川小学校・みどりが丘小学校・上野台中学校・櫻台中学校と4校が新設されました。

交通機関については、大正12年に東上線、昭和8年に八高線が開通し、東京や各地への便が良くなりました。また、平成16年には関越自動車道に嵐山小川インターチェンジが開通し、県道熊谷小川秩父線バイパスに連絡したことにより、小川町へのアクセスは格段と飛躍しました。

また、平成21年秋には本田技研工業(株)埼玉製作所小川エンジン工場が操業を開始するなど、町内に企業が進出しています。

和紙・建具・裏絹・酒など特産物の多い本町では、平成2年に埼玉伝統工芸会館を建設し、小川和紙をはじめとした県内各地の伝統工芸品を展示しています。

小川町は京都に地形が似ているばかりでなく、槻川下流には京都嵐山を思わせる峡谷や南西都幾山には比叡山延暦寺になぞられる県内屈指の古刹慈光寺があります。また、特産物の小川絹は、以前京都へも出荷され、染色も行われました。そのため、昔から武蔵の小京都と呼ばれており、平成8年には全国京都会議に加入しました。

平成26年、小川町・東秩父村で継承されてきた「細川紙」は、島根県の「石州半紙」、岐阜県の「本美濃紙」とともに「和紙：日本の手漉和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

<位置>

小川町は、東京都心から60kmに位置しており、東は嵐山町、西は東秩父村、南はときがわ町、北は寄居町と隣接しています。なお、町役場の位置は、東経139度15分42秒、北緯36度3分23秒、海拔90.99mです。

<人口及び面積>

平成28年5月1日現在

人口(男・女(人))	世帯数	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当たり)
31,327(男15,544・女15,783)	12,964	60.36	519

II 小川町教育委員会

1 教育委員会

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、町の教育に関する事務を管理執行する機関として設置され、町が処理する教育・学術・文化に関する事務を管理し執行します。

また法律又は政令により、その権限に属する機関委任事務も含まれます。ただし教育に関する事務のうち大学及び私立学校に関する事、教育財産を取得し処分すること、教育委員会の所掌に係る事項に関して契約を締結し、又は予算を執行することは町長の権限に属することとされています。

教育委員会は教育長と4人の委員で構成され、会議は毎月の定例会のほか臨時会が開かれます。また町教育行政に関する調査研究をはじめ種々の活動に取り組んでいます。



教育長

小林和夫



教育長

職務代理者

茶原桂子



委員

岡本圭子



委員

細井達男



委員

山口嘉津雄

職名	氏名	現在の任期
教育長	こばやし かずお 小林和夫	平成27年 4月 1日 平成30年 3月31日
教育長 職務代理者	ちはらけい こ 茶原桂子	平成25年10月 1日 平成29年 9月30日
委員	おかもとけいこ 岡本圭子	平成26年10月 1日 平成30年 9月30日
委員	ほそいたつお 細井達男	平成27年10月 1日 平成31年 9月30日
委員	やまぐち か つ お 山口嘉津雄	平成25年 1月 1日 平成28年12月31日

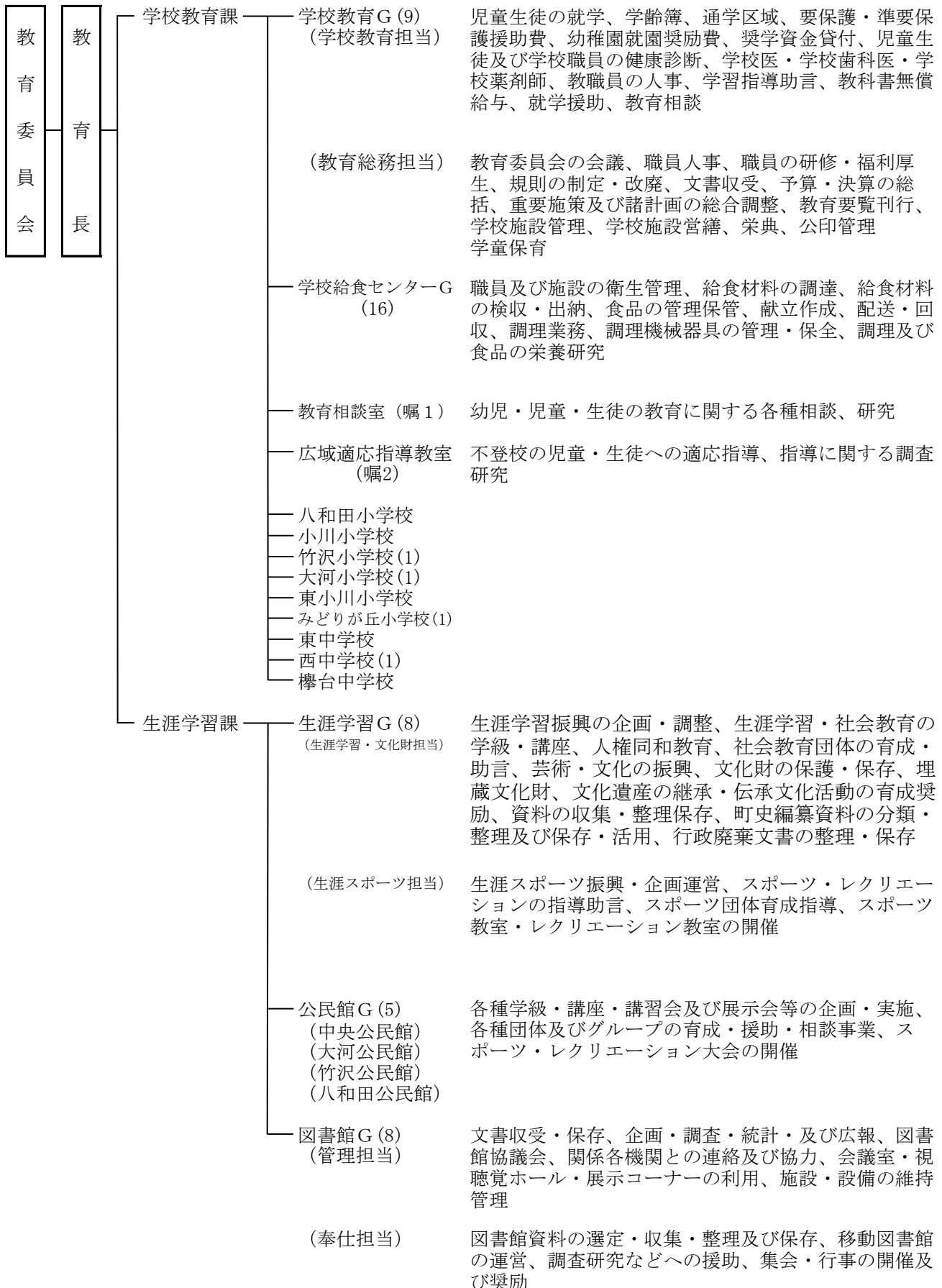
会議の開催状況（平成27年度）

種別	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会	1												1

2 事務局組織と事務分掌

(平成28年5月1日現在)

() は町職員数・嘱は嘱託等数



Ⅲ 小川町教育行政重点施策

平成 28 年度 小川町教育行政重点施策

小川町教育委員会は、教育基本法の精神に則り、人間尊重の理念を踏まえ、児童生徒がこれからの社会をたくましく生きるための力をはぐくみ、町民が輝き、生涯にわたっての自己啓発と多様な学習活動を行うことができるための環境づくりを推進します。

平成 28 年度は、新たに策定された小川町第 5 次総合振興計画の初年度となります。この計画では、町の将来像として「自然の恵みと文化を未来につなぐ、人が輝くまち おがわ」が謳われ、前期基本計画では「教育・文化の振興」についての基本目標として「豊かな心をはぐくむまち」が掲げられました。この基本目標を達成するための 6 つの施策体系を受け、教育委員会では以下の理念のもと、7 つの施策の柱を設定し具体の施策の遂行に取り組んで参ります。

これらの施策の推進に当たっては、小川町民の理解と協力を得ながら、併せて県の教育振興基本計画に謳われている「生きる力を育て 絆を深める」教育の理念も踏まえ、県教育委員会をはじめとする関係機関・団体との連携を密にし、諸事業の着実な実施を図って参ります。

*** 基本理念 ***

自立と自尊の小川町の教育

～ふるさとと他者と自己を愛し、生きがいを広げる町～

*** 施策の 7 つの柱 ***

- 1 生涯を通じた多様な学習活動の推進
- 2 生きる力をはぐくみ確かな学力を身に付させる学校教育の推進
- 3 豊かな心を育て、人権を尊重する教育の推進
- 4 学校経営改革、安心・安全な学校づくりと教育環境の整備
- 5 家庭・地域の教育力の向上
- 6 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造
- 7 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

1 生涯を通じた多様な学習活動の推進

町民の生涯学習活動を支援し、その成果が地域で適切に生かすことができるよう、生涯学習推進計画の推進と推進体制の強化を図り、生涯学習の拠点づくりを進め、いつでも・どこでも・だれでもが生涯学習に取り組めるよう努めます。

- (1) 生涯学習推進体制の確立
 - ①生涯学習推進計画の推進
 - ②推進体制の強化
 - ・生涯学習推進組織の充実
 - ③生涯学習情報の収集、提供及び相談体制の充実
 - ④大学・研究機関等との連携
 - ⑤奨学金制度の体制整備
- (2) 生涯学習の拠点づくり

- ①公民館等生涯学習拠点の整備充実
- ②図書館サービスの向上と利用促進
- ③学校開放の推進
- ④生涯学習施設の連携
- ⑤県立小川高等学校との連携
- ⑥大学・研究機関等の誘致
- (3) 生涯学習プログラムの充実
 - ①家庭教育支援の推進
 - ・子育て世代の学習機会の提供
 - ②青少年、成人期、高齢期学習の充実
 - ・児童・生徒及び青少年の体験。交流促進
 - ・情報活用能力向上のための学習の推進
 - ・ICT（情報通信技術）を活用した学習の推進
- (4) 生涯学習リーダーの育成
 - ①指導者の確保と育成
 - ②生涯学習リーダー（あおいしいきいきサポーター）の確保と育成
- (5) 社会教育関係団体等への支援
 - ①社会教育関係団体・ボランティア団体の育成。援助
 - ②地域活動への支援

2 生きる力をはぐくみ確かな学力を身に付けさせる学校教育の推進

学習指導要領の趣旨に基づき、児童生徒に「生きる力」をはぐくむため、一人一人に基礎・基本を習得させ、併せてその活用能力を高め、自律する力を育む教育活動を展開し、確かな学力を身に付けるよう努めます。

特に、各学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を計画的に展開する中で、児童生徒一人一人が達成感や自己の有用感を得ることができるよう努め、更に自尊感情の醸成につながり個性と創造力の伸長が図れるよう、指導方法等の工夫改善に努めます。

また、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進するため、家庭、地域社会及び関係機関との連携に努めます。

- (1) 幼稚園就園への支援
 - ・幼稚園就園奨励費助成事務の円滑な実施
- (2) 幼稚園・保育園と小学校との連携
 - ・定期的連携事業の推進と充実
 - ・発達相談、就学支援相談を通じた支援の充実
 - ・子育ての目安「3つのめばえ」の活用
- (3) 確かな学力と自立する力をはぐくむ学校教育の推進
(基礎・基本の習得と活用)
 - ①学習指導の充実（個に応じた指導の推進）
 - ・基礎・基本の習得を図る指導方法の工夫改善
 - ・少人数指導等の推進・小学校低学年期の指導の充実
 - ・思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導方法の工夫改善
(「考え、話し合い、学び合う学習」の推進)
 - ②全国学力・学習状況調査、埼玉県・学習状況調査の実施を通しての学力向上と自立する力の育成
 - ③多彩な教育の推進（環境・福祉・情報）
 - ・特色ある学校づくりを目指した教育課程の編成
 - ・環境美化活動の推進
 - ・学校緑化等の推進
 - ・地域の自然環境や社会環境を生かした環境教育の推進
 - ・学校教育活動全般を通しての福祉教育、ボランティア教育の推進
 - ・体系的な情報教育の推進と情報モラルの育成

- ・ICT（情報通信技術）社会に対応した科学技術を担う人材の育成
 - ・学校図書館、司書教諭の活用と読書活動の充実
 - ・町立図書館の活用と連携
 - ④和紙文化等に係わる学習の推進
 - ・効果的な指導計画の研究
 - ・和紙の歴史や手漉き和紙に関する学習の推進
 - ・町の伝統文化、伝統産業に関する学習の推進
 - ⑤特別支援教育の充実（ノーマライゼーションの理念に基づく教育）
 - ・一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の編成と指導の工夫・改善
 - ・通常の学級における障害のある児童生徒への支援体制の整備
 - ・インクルーシブ教育システムの構築
 - ・就学支援体制の充実
 - ・通級指導教室の活用推進と指導の充実
 - ⑥進路指導・キャリア教育の充実
 - ・発達段階に応じたキャリア教育の推進（職場体験事業の推進）
 - ・全教育活動を通じた計画的・組織的な進路指導の充実
 - ・小中学校における組織的・系統的なキャリア教育の充実
 - ・家庭や地域・関係機関との連携強化
 - ⑦健やかな体を育成する教育の推進
 - ・「教育に関する3つの達成目標（体力）」への取組の推進
 - ・運動部活動の充実（外部指導者の活用推進、合同部活動の導入）
 - ・体力向上推進事業の推進（学校体育指導者研修の充実）
 - ・生涯スポーツの観点に基づく年間指導計画の見直しと指導方法の改善
 - ・町内のスポーツ的行事への積極的参加
 - ⑧主権者教育の推進
 - ・子供議会の開催
 - ⑨小中学校の連携のもと小中一貫教育の推進
 - ⑩教育相談の充実 【再掲】
 - ・発達相談の推進
- (4) 国際性を身に付させる教育の推進
- ①国際理解と英語教育の推進
 - ・国際理解教育の推進
 - ・ALT（英語指導助手）の活用と外国語活動（英語）の充実
 - ・外国人児童生徒等の教育の推進
 - ・小学校外国語活動充実のための支援

3 豊かな心を育て、人権を尊重する教育の推進

児童・生徒の心身の発達段階に合わせて、社会生活・学校生活を円滑にかつ充実して営むことができるよう心豊かな人間性をはぐくむ教育を推進します。このために、道徳教育の一層の充実と体験活動の推進に努めます。

また、幼児期から高齢期に至るそれぞれの生活の適時性に沿う多様な教育活動・啓発活動を通して、町民の人権尊重の精神を培う教育の推進に努めます。

- (1) 心の教育の充実
- ①道徳教育の充実
 - ②体験的な学習の推進
 - ・体験活動の充実（中学生社会体験チャレンジ等）
 - ③特別活動・部活動の充実
 - ④「教育に関する3つの達成目標（規律ある態度）」の推進 【再掲】
 - ⑤望ましい人間関係の醸成と学級・学校の環境の整備・充実
- (2) 人権尊重の精神を培う教育の推進
- ①人権・同和教育の推進（人権講座の開設・充実）

- ②いじめ・暴力を許さない教育の推進
- ③体罰根絶に向けた対策の推進
- ④障害のある人（幼児・児童・生徒・青少年・成人）の理解を深める活動の推進
- ⑤様々な人権問題についての啓発活動の推進
- (3) 生徒指導体制の充実
 - ①積極的な生徒指導体制の推進
 - ・教育活動全体を通じた計画的・組織的な指導体制の充実
 - ・より深い子供理解に基づく校内体制の確立と学年・学級運営の充実
 - ②学校と家庭・地域・関係機関との連携強化
- (4) いじめ防止・不登校対策の推進
 - ①いじめを許さない学級づくり学校づくりの推進
 - ②子供理解を深め、相談技術を高める研修等の充実
 - ③広域適応指導教室活動等の充実・推進
 - (様々な学習機会の確保)
 - ④公立小中学校教員人事交流（Jプラン）の活用・推進
 - ⑤学校生活サポート事業、特別支援教育推進事業による学校への人的支援の充実
 - ⑥さわやか相談員、スクールソーシャルワーカーを活用した相談体制の充実
 - ⑦小川町いじめ問題対策連絡協議会等条例に基づくいじめ防止対策の推進
- (5) 男女共同参画社会の確立に向けた教育の推進
 - ①男女平等の視点に立った生涯学習・学校教育の推進
 - ②学校教育活動全体を通じた組織的な指導の推進
 - ③男女平等に関する研修機会の充実や啓発活動の推進
 - ④家庭・地域・学校・関係機関との連携

4 学校経営改革、安心・安全な学校づくりと教育環境の整備

保護者や地域に信頼される学校教育を実現するためには、人的・物的環境の整備・改善・充実が不可欠となります。このため管理職が強いリーダーシップを発揮し、学校経営・運営の改革を図っていくことが必要です。様々な研修や人事評価制度などの活用により、教職員の資質と意欲の向上に努めます。

更に、開かれた学校づくりを進めるとともに、安心・安全に子供達が生活を送ることが出来るよう、様々な教育活動の展開と対策を講じます。このために、学校の情報を積極的に発信します。また、教育の質を向上し支えるために、教育環境の整備に努めます。

- (1) 教職員の資質向上
 - ①分かる授業・伸ばす授業を進めるための指導力（授業力）の向上
 - ②免許更新制の円滑な実施と専門性を高めるための研修の工夫・改善
 - ③経験に応じた各種研修会への参加の促進及び自発的・主体的な研修の奨励
 - ・情報教育に関する研修の充実
 - ④小中学校間の人事交流の促進
 - ⑤人事評価制度の活用
 - ⑥学校訪問などの指導業務の推進（町教育委員会、県教育委員会などによる訪問）
- (2) 学校管理運営の改革
 - ①保護者・地域に信頼される学校運営の推進
 - ②管理職の強いリーダーシップの発揮と創意ある学校づくりの推進
 - ③学校組織体制の整備（主幹教諭の配置等）
 - ④教職員事故防止の徹底と教職員の健康管理
 - ⑤小中学校事務の共同実施の推進
- (3) 地域に開かれた学校づくりの推進
 - ①学校を核とし家庭・地域が一体となった子供の育成
 - ②学校評価の実施と公表
 - ③学校評議員制度の運用、充実
 - ④学校の情報の積極的な発信

- (4) 安全教育・健康教育の推進
 - ①学校安全の強化・充実
 - ②生活安全・交通安全の充実・徹底
 - ③防災教育、防犯体制の充実
 - ・防災・防犯対策の整備（校内防犯体制の点検、充実）
 - ・地域・家庭・学校の連携を密にした地域防災・防犯対策の推進
 - ・防災施設・設備の整備
 - ④地域防犯活動の推進
 - ⑤保健教育・保健管理の充実
 - ・児童生徒に係るアレルギーへの対応
- (5) 衛生管理の徹底と学校給食指導の充実
 - ①衛生管理の徹底
 - ②学校給食委員会の活動の充実
 - ③「食」に関する指導の充実（栄養教諭の活用）
 - ④養護教諭・栄養教諭及び学校栄養職員の研修の充実
- (6) 教育環境の整備
 - ①教育施設・設備の整備
 - ②小中学校再編の検討
 - ③学校給食体制の整備
 - ④安全管理の徹底と事故防止
 - ⑤学校施設の計画的な改修と改善

5 家庭・地域の教育力の向上

基本的な生活習慣や論理観、自制心や自立心などを身につけさせることができる家庭づくりや子育て支援を行うために、支援体制の整備や各種啓発事業等の充実に努めます。

また、人々の絆や住民どうしの繋がりを醸成する視点からの地域活動の推進を図り、地域の行事やボランティア活動などへの参加を通じて、子供たちが地域の一員として育つよう、地域ぐるみでの教育活動の支援に努めます。

- (1) 家庭教育支援体制の充実
 - ①地域における人材の育成・活用
 - ②教育相談の充実 **【再掲】**
- (2) 家庭教育力向上のための学習機会の充実
 - ①時代のニーズに適応した家庭教育講座の充実（家庭教育アドバイザーの活用）
 - ②社会の各分野で活躍するプロを招聘しての講演会の実施
 - ③「教育に関する3つの達成目標（規律ある態度）」への取組の推進 **【再掲】**
- (3) 地域の教育推進体制の充実
 - ①学校応援団の充実と連携強化
 - ②地域人材・ボランティア等の活用
 - ③民間団体・企業等との連携推進
 - ④放課後子供教室の推進（開設準備）
 - ⑤放課後児童対策事業の推進（学童保育への支援）
- (4) 地域の体験活動の充実
 - ①自然体験活動の推進
 - ②地域活動やボランティア活動への参加促進
 - ③文化・スポーツ活動の推進
- (5) 青少年健全育成の推進
 - ①非行防止ネットワークづくりの推進
 - ②薬物乱用防止対策の推進
 - ③性非行防止対策の推進
 - ④相談体制の充実
- (6) 子供の読書活動の推進

- ①読書に親しむ機会の提供と充実
- ②読書環境の整備充実
- ③啓発・広報の推進
- ④幼稚園・保育園・放課後児童クラブ・小中学校と図書館の連携強化
 - ・図書館職員の学校訪問等、職員間の情報交換

6 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造

近年、社会生活の変化や余暇時間の活用に伴い、町民の意識の中には心の豊かさを求める機運が高まっています。当町には、長い歴史と伝統の中から生まれた豊かな文化と文化財が存在します。これらの保存・継承・活用により、人が輝くまちの形成に努めます。

また、文化活動の発表や交流の場を広く町民に提供するとともに、自主的な文化活動の支援と地域文化活動の促進に努めます。

さらに、細川紙のユネスコ無形文化遺産登録を受け、なお一層の紙漉き技術の伝承に努めるとともに、様々な伝統文化等の活用により、新しい「和紙のふるさと」文化の創造に努めます。

(1) 伝統文化の継承と活用

①和紙文化の継承と活用

- ・ユネスコ無形文化遺産細川紙の伝承と活用の促進
- ・和紙体験学習センターの計画的活用の推進
- ・和紙関係資料の保存と活用の推進（講座等の開催）
- ・細川紙後継者育成事業の推進
- ・和紙サミットの開催

②伝統文化の継承と活用

(2) 文化財等の保存と活用

①下里・青山板碑製作遺跡の保存と活用

②文化財の保存と活用

- ・文化財保存管理の充実と愛護活動の推進

③埋蔵文化財の保存と活用

④史跡・遺跡等の保存と活用

- ・仙覚律師遺跡碑等の保存と活用

⑤町並み活用の検討

⑥広域的な文化財交流の促進

⑦文化・文化財関係施設の検討・整備の促進

(3) 町民文化活動の支援

①イベントの開催

- ・地域文化活動、芸術文化活動、文化団体活動の促進

②文化施設の有効利用

③資料の活用・情報提供

- ・町史刊行本の頒布の促進
- ・収集資料の積極的活用（町史編纂資料等）

④歴史講座等活用事業の促進

7 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

町民一人一人の心身の健全な発達と豊かな生活を実現するためには、生涯にわたって健康と安全に対する関心を深め、積極的に運動に親しむことが必要です。

このため、広く町民があらゆる機会を通じ、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境・体制づくりを進め、体力づくりに対する意識の向上がもたらされ、健康の保持・増進が図られるよう努めます。

(1) スポーツ活動の充実

①和紙マラソン大会・町民総合体育大会などへの支援

- ・小川和紙マラソン大会の開催
- ・町民総合体育大会の開催
- ・各種スポーツ大会の開催と参加支援
- ②健康・体力づくり事業の推進
 - ・各種スポーツ教室の開催
- ③自主活動の支援・相談体制の充実
- ④地域スポーツの推進
- (2) スポーツ推進体制の充実
 - ①体育協会活動等への支援
 - ・スポーツ・レクリエーション団体の育成・援助
 - ②スポーツ・健康指導の充実
 - ③社会体育施設の有効活用
 - ④情報提供・広報の充実
- (3) スポーツ施設の充実と開放
 - ①総合運動場等の整備充実
 - ②学校体育施設開放の推進

1 生涯を通じた多様な学習活動の推進

町民の生涯学習活動を支援し、その成果が地域で適切に生かすことができるよう、生涯学習推進計画の推進と推進体制の強化を図り、生涯学習の拠点づくりを進め、いつでも・どこでも・だれでもが生涯学習に取り組めるよう努めます。

(1) 生涯学習推進体制の確立

①生涯学習推進計画の推進

平成18年に策定された第2次小川町生涯学習推進計画が平成28年3月に計画期間が終了しました。このため、本年度は第3次生涯学習推進計画を策定し、生涯学習を推進していきます。



生涯学習推進計画案答申

②推進体制の強化

- ・生涯学習推進組織の充実

生涯学習推進本部や町民から成る生涯学習推進町民協議会などの組織を通じて、生涯学習推進のための方策や町民の学習活動に関する支援等の検討をしていきます。

③生涯学習情報の収集、提供及び相談体制の充実

広報おがわや各公民館、ホームページなどにおいて生涯学習情報の提供を行っています。

図書館においては、読書相談や学習相談、広域での資料相互貸借等、利用しやすい体制を整え学習者を支援していきます。

④大学・研究機関等との連携

大学・研究機関等の公開講座の情報提供を行います。

⑤奨学金制度の体制整備

高校や大学に進学するための経済的な負担の軽減と本町への定住促進を図るため、奨学金の制度を図るため、奨学金の制度を活用しやすくするための体制を整備します。



公民館運営審議会

(2) 生涯学習の拠点づくり

①公民館等生涯学習拠点の整備充実

公民館は、地域の生涯学習の拠点として、各種講座等を開講し、学習の場と機会の提供・拡充を推進します。また、関係機関・団体と連携を図りながら、町民の多様なニーズに対応した生涯学習体系の構築を目指します。

②図書館サービスの向上と利用促進

図書館は生涯学習の場として多様化・高度化する町民の学習意欲に応えるため、資料とレファレンスサービス業務の充実を図ります。また、イベント・講座の開設やサービスの充実に努め、利用促進を図ります。

③学校開放の推進

身近に学習活動ができる施設として小中学校施設の開放を推進します。

④生涯学習施設の連携

公民館、図書館などの生涯学習施設が連携を図り、施設の有効活用を進め活発な学習活動を支援します。また、県立小川げんきプラザや周辺の市町村を含めたネットワーク化を進めます。

⑤県立小川高等学校との連携

県立小川高校の教育資源を町民の生涯学習活動等に活用するため、連携強化に努めます。

⑥大学・研究機関等の誘致

大学・研究機関等の誘致を検討します。

(3) 生涯学習プログラムの充実

① 家庭教育支援の推進

- ・子育て世代の学習機会の提供

図書館や公民館、ボランティアなどと連携し、親子で楽しむ読み聞かせや自然体験など講座内容を充実し、子育て世代の学習機会の提供を図ります。



子ども大学おがわ「縄文探検隊」

② 青少年、成人期、高齢期学習の充実

- ・児童・生徒及び青少年の体験・交流促進
- ・情報活用能力向上のための学習の推進
- ・ICT（情報通信技術）を活用した学習の推進

学ぶ力や生きる力を育み、郷土の理解を深めるために、「子ども大学」事業、「小川町探検隊」事業、公民館講座として「子供茶道入門」、「小川和紙でラッピングバッグ作り」、「子供パン作り教室」、「親子わくわくカヌー体験」、「作って、飛ばそう！親子模型飛行機教室」を実施し、青少年期の学習の充実を図ります。

「高齢者講座」や「女性講座」など、社会のニーズに合わせた多様な学級・講座の開催により、成人期・高齢期における学習の充実を図ります。

また、情報活用能力向上のための学習の推進を図るため、公民館講座としてパソコン教室（初心者向け、ワード応用編）やタブレット教室などを開講します。

(4) 生涯学習リーダーの育成

①指導者の確保と育成

定年を迎えた世代や専門性の高い知識・経験・技術のある人材を確保・育成し、活動を支援します。また、町民の行政等に関する学習を支援するため、「小川町生涯学習指導者出前講座（行政編）」の指導者となる町職員の育成に努めます。

②生涯学習リーダー（あおいしいいききサポーター）の確保と育成

町民が学習した成果を活かせるよう、生涯学習指導者（あおいしいいききサポーター）への登録を推進し、生涯学習のリーダーを確保します。

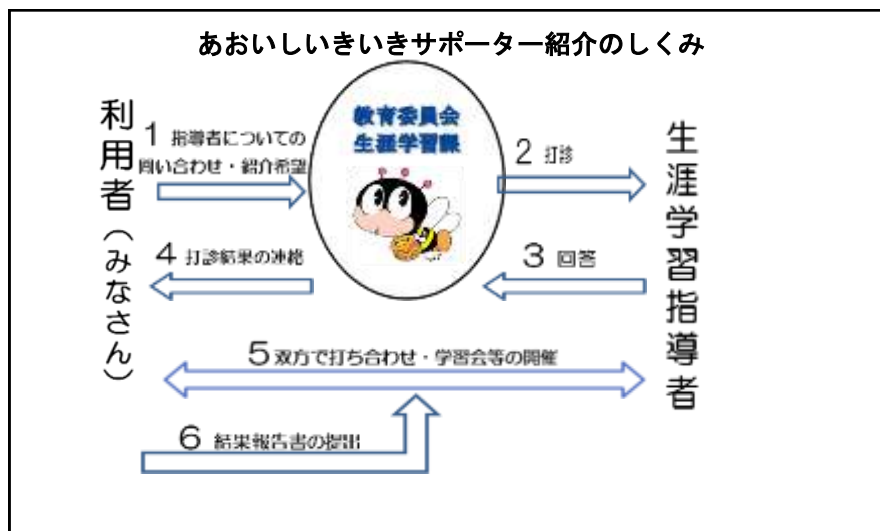
また、あおいしいいききサポーター更新年度にはサポーター対象の講習会を開催し、指導者の育成に努めます。



あおいしいいききサポーター研修会

<小川町生涯学習指導者（あおいしいいききサポーター）>

町民の学習活動を支援するため、様々な分野で指導者として小川町生涯学習指導者に登録し、町民のみなさんの求めに応じ紹介しています。



<小川町生涯学習出前講座（行政編）>

町民の行政等に関する学習活動を支援するため、町民のみなさんの求めに応じて、町職員が自治会館や集会所などで行う5人以上の集会に講師として伺います。55講座を用意しています。

(5) 社会教育関係団体等への支援

①社会教育関係団体・ボランティア団体の育成・援助

郷土芸能の奨励、PTA連合や文化団体、子ども会連絡協議会、スポーツ少年団等、社会教育関係団体やボランティア団体の育成・援助を目的とした補助金の交付を行います。

②地域活動への支援

ウグイの放流など、スポーツ少年団や子ども会の地域行事への参加を支援する活動を実施します。また、郷土芸能祭りなど郷土芸能団体の参加を奨励する事業を実施し、地域における伝統芸能を支援します。



小川町郷土芸能まつり



武蔵の小京都おがわを描く展表彰式

2 生きる力をはぐくみ確かな学力を身に付させる学校教育の推進

学習指導要領の趣旨に基づき、児童生徒に「生きる力」をはぐくむため、一人一人に基礎・基本を習得させ、併せてその活用能力を高め、自律する力を育む教育活動を展開し、確かな学力を身に付けるよう努めます。

特に、各学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を計画的に展開する中で、児童生徒一人一人が達成感や自己の有用感を得ることができるよう努め、更に自尊感情の醸成につながり個性と創造力の伸長が図れるよう、指導方法等の工夫改善に努めます。

また、地域に信頼される開かれた学校づくりを推進するため、家庭、地域社会及び関係機関との連携に努めます。

(1) 幼稚園就園への支援

- ・幼稚園就園奨励費助成事務の円滑な実施

(2) 幼稚園・保育園と小学校との連携

- ・定期的連携事業の推進と充実
- ・発達相談、就学支援相談を通じての支援の充実
- ・子育ての目安「3つのめばえ」の活用

(3) 確かな学力と自立する力をはぐくむ学校教育の推進（基礎・基本の習得と活用）

①学習指導の充実（個に応じた指導の推進）

- ・基礎・基本の習得を図る指導方法の工夫改善
- ・少人数指導等の推進・小学校低学年期の指導の充実
- ・思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導方法の工夫改善
（「考え、話し合い、学び合う学習」の推進）

②全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の実施を通しての学力向上と自立する力の育成

全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果を児童生徒・保護者・学校が共有しこれらを活用することにより児童生徒一人一人の理解に応じた指導の充実を図る。



「考え、話し合い、学び合う学習」の授業研究会

③多彩な教育の推進（環境・福祉・情報）

- ・特色ある学校づくりを目指した教育課程の編成
- ・環境美化活動の推進
- ・学校緑化等の推進
- ・地域の自然環境や社会環境を生かした環境教育の推進
- ・学校教育活動全般を通しての福祉教育、ボランティア教育の推進
- ・体系的な情報教育の推進と情報モラルの育成
- ・ICT（情報通信技術）社会に対応した科学技術を担う人材の育成
- ・学校図書、司書教諭の活用と読書活動の充実
- ・町立図書館の活用と連携



埼玉県寄居森林組合の指導を受けての林業体験

④和紙文化等に係わる学習の推進

- ・効果的な指導計画の研究
- ・和紙の歴史や手漉き和紙に関する学習の推進
- ・町の伝統文化、伝統産業に関する学習の推進



伝統工芸士による講義と紙漉体験

⑤特別支援教育の充実（ノーマライゼーションの理念に基づく教育）

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の編成と指導の工夫・改善
- ・通常の学級における障害のある児童生徒への支援体制の整備
特別支援教育推進事業による学校への人的支援
- ・インクルーシブ教育システムの構築
- ・就学支援体制の充実
- ・通級指導教室の活用推進と指導の充実

⑥進路指導・キャリア教育の充実

- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進（職場体験事業の推進）
- ・全教育活動を通じた計画的・組織的な進路指導の充実
- ・小・中学校における組織的・系統的なキャリア教育の充実
- ・家庭や地域・関係機関との連携強化

⑦健やかな体を育成する教育の推進

- ・「教育に関する3つの達成目標（体力）」への取組の推進
- ・運動部活動の充実（外部指導者の活用推進、合同部活動の導入）
- ・体力向上推進事業の推進（学校体育指導者研修の充実）
- ・生涯スポーツの観点に基づく年間指導計画の見直しと指導方法の改善
- ・町内のスポーツ的行事への積極的参加



目標を持ったボール投げの練

⑧主権者教育の推進

- ・子供議会の開催
小中学校の児童生徒が、議会制民主主義の基礎基本を学ぶとともに小川町についての理解と関心を深め、その発展に努力しようとする態度の基礎を培う。



子供議会準備会 議場説明

⑨小中学校の連携のもと小中一貫教育の推進

⑩教育相談の充実【再掲】

- ・発達相談の推進

（４）国際性を身に付けさせる教育の推進

①国際理解と英語教育の推進

- ・国際理解教育の推進
- ・ALT（英語指導助手）の活用と外国語活動（英語）の充実
- ・外国人児童生徒等の教育の推進
- ・小学校外国語活動充実のための支援



外国語指導助手による授業風景

3 豊かな心を育て、人権を尊重する教育の推進

児童・生徒の心身の発達段階にあわせて、社会生活・学校生活を円滑にかつ充実して営むことができるよう心豊かな人間性をはぐくむ教育を推進します。このために、道徳教育の一層の充実と体験活動の推進に努めます。

また、幼児期から高齢期に至るそれぞれの生活の適時性に沿う多様な教育活動・啓発活動を通して、町民の人権尊重の精神を培う教育の推進に努めます。

(1) 心の教育の充実

①道徳教育の充実

「道徳授業『匠の技』伝承事業」講師による示範授業を通しての研修と授業力の向上

②体験的な学習の推進

・体験活動の充実（中学生社会体験チャレンジ等）

③特別活動・部活動の充実

④『教育に関する3つの達成目標（規律ある態度）』の推進【再掲】

⑤望ましい人間関係の醸成と学級・学校の環境の整備・充実

異学年集団での活動を通して、高学年として下学年児童に対する良きリーダーシップを発揮し、下学年児童は上級生と協力して活動することの大切さを体得するとともに、集団への所属感を深める。



消防署での救助体験



お店の準備をしている2年生を手伝う上級生

(2) 人権尊重の精神を培う教育の推進

①人権・同和教育の推進（人権講座の開設・充実）

②いじめ・暴力を許さない教育の推進

③体罰根絶に向けた対策の推進

④障害のある人（幼児・児童・生徒・青少年、成人）

の理解を深める活動の推進

⑤様々な人権問題についての啓発活動の推進



人権コーナー「思いやりのメッセージ」

(3) 生徒指導体制の充実

①積極的な生徒指導体制の充実

・教育活動全体を通じた計画的・組織的な指導体制の充実

・より深い子供理解に基づく校内体制の確立と学年・学級運営の充実

②学校と家庭・地域・関係機関との連携強化

(4) いじめ防止・不登校対策の推進

①いじめを許さない学級づくり学校づくりの推進

②子供理解を深め、相談技術を高める研修等の充実

③広域適応指導教室活動等の充実・推進（様々な学習機会の確保）

不登校の児童生徒の自立と学校生活への適応にかかわる指導を行い、学校復帰ができるよう援助に勤める。

④公立小・中学校教員人事交流（Jプラン）の活用・推進

⑤学校生活サポート事業、特別支援教育推進事業による学校への人的支援の充実

⑥さわやか相談員、スクールソーシャルワーカーを活用した相談体制の充実

いじめや不登校の問題の解消を図るため、町内中学校にさわやか相談室を設置し、児童生徒の心の悩みや保護者の相談に応じる。

スクールソーシャルワーカーは、学校と連携し、子供が置かれた様々な環境へ働きかけを行うとともに、関係機関等とのネットワークを活用しながら、問題を抱えている子供及びその保護者等に支援を行い、問題の解決を図る

⑦小川町いじめ問題対策連絡協議会等条例に基づくいじめ防止対策の推進

小川町では、小川町いじめ防止対策連絡協議会を設置し、いじめ問題に関する現状把握、分析を行いいじめ問題の防止と解消に向けた取組を推進する。



「子ども安全見まもり
講座」情報モラル研修

(5) 男女共同参画社会の確立に向けた教育の推進

①男女平等の視点に立つ生涯学習・学校教育の推進

②学校教育活動全体を通じた組織的な指導の推進

③男女平等に関する研修機会の充実や啓発活動の推進

④家庭・地域・学校・関係機関との連携

男女平等教育推進の基盤は、家庭と地域にあることを念頭に、あらゆる教育活動を通して連携を進めていく。

4 学校経営改革、安心・安全な学校づくりと教育環境の整備

保護者や地域に信頼される学校教育を実現するためには、人的・物的環境の整備・改善・充実が不可欠となります。このため管理職が強いリーダーシップを発揮し、学校経営・運営の改革を図っていくことが必要です。様々な研修や人事評価制度などの活用により、教職員の資質と意欲の向上に努めます。

更に、開かれた学校づくりを進めるとともに、安心・安全に子供達が生活を送ることが出来るよう、様々な教育活動の展開と対策を講じます。このために、学校の情報を積極的に発信します。また、教育の質を向上し支えるために、教育環境の整備に努めます。

(1) 教職員の資質・能力の向上

- ①分かる授業・伸ばす授業を進めるための指導力（授業力）の向上
- ②免許更新制の円滑な実施と専門性を高めるための研修の工夫・改善
- ③経験に応じた各種研修会への参加の促進及び自発的・主体的な研修の奨励
 - ・情報教育に関する研修の充実
- ④小・中学校間の人事交流の推進
- ⑤人事評価制度の活用

町内の管理職を対象とした研修に加え、6町村合同の人事評価に係る研修を実施し評価の精度を高め、P D C Aサイクルによる教職員の資質向上を推進する。

- ⑥学校訪問などの指導業務の推進（町教育委員会、県教育委員会などによる訪問）

(2) 学校管理運営の改善

- ①保護者・地域に信頼される学校運営の推進
- ②管理職の強いリーダーシップの発揮と創意ある学校づくりの推進
- ③学校組織体制の整備（主幹教諭の配置等）
- ④教職員事故防止の徹底と教職員の健康管理

教職員による「不祥事防止」及び「体罰防止」を徹底し、保護者・地域に信頼される学校づくりを推進する

「メンタルヘルス研修会」及び「こころの健康講座」等の成果を活用し心身の健康管理に務める

- ⑤小・中学校事務の共同実施の推進

(3) 地域に開かれた学校づくりの推進

- ①学校を核とし家庭・地域が一体となった子供の育成
- ②学校評価の実施と公表
- ③学校評議員制度の運用、充実
- ④学校の情報の積極的な発信

(4) 学校施設・設備の充実

①学校安全の強化・充実

②生活安全・交通安全の充実・徹底

通学路の点検を実施し、危険各所の把握と安全指導の徹底を図る。

③防災教育、防犯体制の充実

- ・防災・防犯対策の整備（校内防犯体制の点検、充実）
- ・地域・家庭・学校の連携を密にした地域防災・防犯対策の推進
- ・防災施設・設備の整備

④地域防犯活動の推進

⑤保健教育・保健管理の充実

- ・児童生徒に係るアレルギーへの対応



震災を想定した引き渡し訓練

(5) 衛生管理の徹底と学校給食指導の充実

①衛生管理の徹底

②学校給食委員会の活動の充実

③「食」に関する指導の充実（栄養教諭の活用）

④養護教諭・栄養教諭及び学校栄養職員の研修の充実



栄養教諭による食育の授業

(6) 教育環境の整備

①教育施設・設備の整備

町内全小中学校の教室等にエアコンを設置し、学習環境の改善を図った。

H 2 6 年度	八和田小・竹沢小・東小川小 みどりが丘小・樺台中
H 2 7 年度	小川小・大河小・東中・西中

②小中学校再編の検討

③学校給食体制の整備

④安全管理の徹底と事故防止

⑤学校施設の計画的な改修と改善



校舎の耐震工事とエアコンの設置

5 家庭・地域の教育力の向上

基本的な生活習慣や論理観、自制心や自立心などを身につけさせることができる家庭づくりや子育て支援を行うために、支援体制の整備や各種啓発事業等の充実に努めます。

また、人々の絆や住民どうしの繋がりを醸成する視点からの地域活動の推進を図り、地域の行事やボランティア活動などへの参加を通じて、子供達が地域の一員として育つよう、地域ぐるみでの教育活動の支援に努めます。



小川町子ども会連絡協議会「農業体験」

(1) 家庭教育支援体制の充実

①地域における人材の育成・活用

家庭教育の充実に図るため、地域における人材の育成・活用に努めます。

②教育相談の充実（再掲）

家庭教育に係る相談の充実に努めます。

保護者からの相談実績

	平成26年度		平成27年度	
	スクールソーシャルワーカー	小学校	17件	小学校
	中学校	8件	中学校	57件
身近な相談員	面接相談	電話相談	面接相談	電話相談
	67人	51件	160人	182件

(2) 家庭教育力向上のための学習機会の充実

①時代のニーズに適応した家庭教育講座の充実（家庭教育アドバイザーの活用）

就学時健康診断時に埼玉県家庭教育アドバイザーの派遣を依頼し、子育て講演等を実施します。

②社会の各分野で活躍するプロを招聘しての講演会の実施

③「教育に関する3つの達成目標（規律ある態度）」への取組の推進（再掲）

「規律ある態度」アンケート集計結果を活用し、児童生徒に基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせるよう家庭に啓発を行います。

(3) 地域の教育推進体制の充実

①学校応援団の充実と連携強化

小・中学校に設置されている学校応援団との連携を強化し、地域での子供達への見守り、学習活動への支援を充実させます。



学校応援団の指導で行う「米作り」

②地域人材・ボランティア等の活用

地域の人材を発掘し、地域人材・ボランティアなどの活用に努めます。

③民間団体・企業等との連携推進

地域の教育力推進を図るため、民間団体・企業等との連携を推進します。

④放課後子供教室の推進（開設準備）

平成27年3月に町が策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、放課後子供教室の開設準備を進め、「放課後子供教室開催準備」の開催、先進事例の研究、運営方法、人材確保策などについて検討を行います。

⑤放課後児童対策事業の推進（学童保育への支援）

共働き家庭など留守家庭の児童を対象とした学童クラブの支援、充実に努めます。

(4) 地域の体験活動の充実

①自然体験活動の推進

町子ども会連絡協議会によるサツマイモ苗植え、収穫事業などを行い、自然体験活動の推進を図

ります。

②地域活動やボランティア活動への参加促進

スポーツ少年団や子ども会が河川清掃、ウグイの放流などの快適な環境づくり運動に参加するよう促します。

③文化・スポーツ活動の推進

下里のささら獅子舞、上古寺氷川神社のエンエンワ、小川祭りばやし、神田囃子、奈良梨若連、古寺太鼓、仙元太鼓などの活動を支援し、民俗行事、郷土芸能活動を支援し、文化活動の推進に努めます。

スポーツ活動においても参加を促します。

(5) 青少年健全育成の推進

①非行防止ネットワークづくりの推進

中学校区単位で学校と地域の方々、関係機関等が連携して学校における問題行動等を解決する取組を実施しています。

②薬物乱用防止対策の推進

各中学校において、生徒に薬物と健康との関わりについて正しく理解させるため、警察職員や麻薬取締役官OBなどによる「薬物乱用防止教室」を開き、薬物乱用防止対策を推進します。



親子薬物乱用防止教室

②性非行防止対策の推進

インターネットや携帯電話の普及による様々なトラブルから児童生徒を守るために、保護者が見守り、家庭でできることを親子で一緒に考えるよう啓発を行います。

③相談体制の充実

青少年健全育成に係る相談体制の充実を図ります。

(6) 子供の読書活動の推進

①読書に親しむ機会の提供と充実

小中学校においては、始業前の時間を活用した読書や読み聞かせや学校図書館の積極活用を促し、読書に親しむ機会を多く持つように努めます。

図書館においては、「子供読書の日記念おはなし会」、「春休みこどもおはなし会」、「親子で楽しむおはなし会」、「ファーストブック」などの講座・イベントを開催し、読書に親しむ機会の提供と充実に努めます。

②読書環境の整備充実

子供の読書しやすいよう、学校図書館、図書館の施設や事業の充実を図ります。移動図書館事業についても引き続き実施します。

③啓発・広報の推進

子ども読書の日に合わせて、「子供読書の日記念おはなし会」を開催するなどして、子供の読書活動について啓発を行います。

また、図書館ホームページや広報おがわなどによる広報活動を充実、推進します。



図書館まつり「おはなし会」

④幼稚園・保育園・学童クラブ・小中学校と図書館の連携強化

・図書館職員の学校訪問、職員間の情報交換

図書館職員による学校等訪問、職員間の情報交換を推進します。

学級文庫貸出、ブックトーク（図書館職員による児童生徒への本の紹介）などを実施し、小中学校などと図書館の連携強化に努めます。

子ども読書の日に合わせて、「子供読書の日記念おはなし会」を開催するなどして、子供の読書活動について啓発を行います。

6 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造

近年、社会生活の変化や余暇時間の活用に伴い、町民の意識の中には心の豊かさを求める機運が高まっています。当町には、長い歴史と伝統の中から生まれた豊かな文化と文化財が存在します。これらの保存・継承・活用により、人が輝くまちの形成に努めます。

また、文化活動の発表や交流の場を広く町民に提供するとともに、自主的な文化活動の支援と地域文化活動の促進に努めます。

さらに、細川紙のユネスコ無形文化遺産登録を受け、なお一層の紙漉き技術の伝承に努めるとともに、様々な伝統文化等の活用により、新しい「和紙のふるさと」文化の創造に努めます。

(1) 伝統文化の継承と活用

①和紙文化の継承と活用

- ・ユネスコ無形文化遺産細川紙の伝承と活用の推進
- ・和紙体験学習センターの計画的活用の推進
- ・和紙関係資料の保存と活用の推進（講座等の開催）
- ・細川紙後継者育成事業の推進
- ・和紙サミットの開催



細川紙

小川町の特産である「細川紙」の紙漉き技術が国の重要無形文化財に指定されており、伝統的製紙技法を後世に伝えるために、後継者の育成や品質管理などの事業が進められています。全国の重要無形文化財保持団体で組織される「全国重要無形文化財保持団体協議会」に参加し、展示会等を通じて普及啓発活動も行います。

また、平成26年には石州半紙・本美濃紙と併せて「日本の手漉和紙」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。「和紙サミット」など3紙をはじめ関係団体と連携した事業も展開します。さらに、確実な技術の伝承とより一層の活用、情報発信を図るため、関係各課と連携して和紙体験学習センターの計画的活用や資料の保存と活用を推進します。

②伝統文化の継承と活用

町指定民俗無形文化財の下里の獅子舞、上古寺氷川神社のエンエンワをはじめ、祭りばやしなどの民俗行事、郷土芸能が継承されています。それぞれの地域において主体的に行われている伝承活動のほか、郷土芸能まつりなど公開・啓発活動の支援を行います。

(2) 文化財の保存・活用

①下里・青山板碑製作遺跡の保存と活用

平成26年に国の史跡に指定された下里・青山板碑製作遺跡の継続的な調査を実施するとともに、保存活用計画を策定して、保護に万全を期します。また、講演会や展示会、子供向け普及活動など、保存・活用に向けた啓発事業を進めます。



下里・青山板碑製作遺跡(割谷地区)

②文化財の保存と活用

- ・文化財保存管理の充実と愛護活動の推進

平成28年5月現在、町内には国指定文化財5件・県指定10件、町指定58件の指定文化財があり

ます。その中には、ふるさと歩道等のハイキングコースに組み込まれ、一般の見学者が多く訪れる指定史跡などがあります。穴八幡古墳や中世の城跡などの下草伐採を定期的に行ない、より良い状況で見学できるよう、各保存会等と連携を図りながら、適切な維持管理と愛護活動の充実に努めます。

③埋蔵文化財保護の保存と活用

町内には156か所の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が存在します。各種開発等に伴いその遺跡が破壊される場合には、発掘調査を実施して記録保存の措置を講じています。発掘調査を実施した遺跡は、出土遺物や図面の整理を行い、発掘調査報告書を刊行し、調査成果の公開を図ります。

④史跡・遺跡等の保存と活用

・仙覚律師遺跡碑等の保存と活用

重要な遺跡については史跡指定し確実な保護を図ります。また、仙覚律師遺跡などの旧跡についても保存と活用を図ります。



仙覚律師遺跡碑

⑤町並み活用の検討

「武蔵の小京都」と称される町内には、かつての賑わいの面影を伝える蔵や町家などの建造物が残っています。こうした建造物の保護とともに、歴史性や小京都的雰囲気を感じさせる町並み景観の保全・形成も視野に入れて、関係課などと連携して検討を図ります。

⑥広域的な文化財交流の促進

比企地区の文化財担当者により、比企地区文化財振興協議会が組織され、文化財保護や埋蔵文化財調査などの方法や問題点を協議・検討しています。「比企歴史の丘事業」として、県立嵐山史跡の博物館とも協力して各種事業を実施します。

⑦文化・文化財関係施設の検討・整備の促進

現状では資料等が分散保管されており、保管状況も一時的・簡易的なものがほとんどであり、効率的で確実な資料の整理分類・保存管理ができるような施設の整備・充実に検討していきます。

(3) 町民文化活動の支援

①イベントの開催支援

・地域文化活動、芸術文化活動・文化団体活動の促進

町内各地域で行われている地域文化活動、芸術文化活動、文化団体活動の促進のため、武蔵の小京都おがわを描く展や郷土芸能祭りなどのイベントの開催を支援します。



おがわ文化会による七夕まつり飾りつけ

②文化施設の有効活用

町民活動の場として、公民館、図書館等の文化施設の積極的な有効活用を図ります。

③資料の活用・情報提供

・町史刊行本の頒布の促進

町史編さん事業や教育委員会で刊行した21種類の刊行本の頒布を促進します。

・収集資料の積極的活用（町史編纂資料等）

町史編さん事業で収集した資料を町民共有の貴重な文化遺産として分類整理・保管を図り、町民の各種活動や行政の各種事業等に広く活用を図ります。また、保存年限を過ぎた行政文書等を行政情報資料として整理・保存を図るとともに、町や町政にかかわる各種の資料や情報を収集し、情報提供等を行います。



収集資料

町史・文化財頒布刊行物一覧（頒布場所 教育委員会・生涯学習課、楽市おがわ）

No.	刊行物の名称	頒布価格	備考	No.	刊行物の名称	頒布価格	備考
1	小川町のあゆみ	2,000円		11	民俗編	3,800円	
2	通史編 上巻	3,000円		12	地質編	3,500円	
3	通史編 下巻	3,000円		13	植物編	3,500円	
4	資料編1 考古	3,800円		14	動物編	3,500円	
5	資料編2 古代・中世Ⅰ	3,000円		15	絵図で見る小川町	2,000円	
6	資料編3 古代・中世Ⅱ	3,800円		16	墓石調査報告書	2,000円	残部なし
7	資料編4 近世Ⅰ	3,800円		17	小川町の文化財	800円	
8	資料編5 近世Ⅱ	3,800円		18	小川町の石造物	2,000円	
9	資料編6 近代	3,800円		19	重要文化財吉田家住宅	1,000円	
10	資料編7 近代・現代	3,800円		20	「万葉集」と仙覚律師と小川町	100円	
				21	下里・青山板碑石材採掘遺跡群割谷採掘遺跡報告書	1,000円	

④歴史講座等活用事業の促進

活用事業の一環として図書館の町民ギャラリー等を利用した「パネル展」や企画展示コーナーを利用した定期的なミニ展示、歴史講座、自然観察会を行います。

7 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

町民一人一人の心身の健全な発達と豊かな生活を実現するためには、生涯にわたって健康と安全に対する関心を深め、積極的に運動に親しむことが必要です。

このため、広く町民があらゆる機会を通じ、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境・体制づくりを進め、体力づくりに対する意識の向上がもたらされ、健康の保持・増進が図られるよう努めます。

(1) スポーツ活動の充実

①和紙マラソン大会・町民総合体育大会などへの支援

・小川和紙マラソン大会の開催

和紙マラソン大会は本年度で第24回の開催となり、ますます充実した内容で全国に「和紙のふるさと」をアピールしています。全国ランニング大会100撰にも1997年から19年連続で選ばれ、全国各地からの参加選手の評価は高く、町の生涯スポーツ推進のメインイベントに位置づけています。健康・体力づくり、和紙の振興、町の活性化を図るため、和紙マラソン大会の開催を支援します。

種目別申込者数（第23回大会）

種目	人数	種目	人数
ハーフ 一般男子	465	10K 女子40歳以上	244
ハーフ 男子40歳代	543	5K 一般男子	58
ハーフ 男子50歳代	484	5K 男子40歳以上	158
ハーフ 男子60歳以上	366	5K 一般女子	86
ハーフ 一般女子	98	5K 女子40歳以上	80
ハーフ 女子40歳以上	224	3K 中学男子	108
10K 一般男子	351	3K 中学女子	65
10K 男子40歳代	247	2K 小学男子	190
10K 男子50歳代	241	2K 小学女子	81
10K 男子60歳以上	283	2K 親子(174組)	355
10K 一般女子	128	合計	4,855



第23回小川和紙マラソン大会



第23回小川和紙マラソン大会

・町民総合体育大会の開催

また、日頃の練習成果を発揮する場として、体育協会との共催により、町民総合体育大会を実施します。広く町民へ広報などを通じて参加を呼びかけ、競技団体に所属していない町民の親善、親睦と生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

・各種スポーツ大会の開催と参加支援

各種スポーツ大会の開催と参加支援を図ります。

②健康・体力づくりの事業の推進

- ・各種スポーツ教室の開催

健康・体力づくり、生涯1人1スポーツの推進のため、各種スポーツ教室を開催します。

平成28年度スポーツ教室

No.	教室名	定員	開催場所	期日	回数
1	硬式テニス教室	一般男女 シニア30名	総合運動場 テニスコート	5/29～6/26 毎週日曜日 (予備日2日間)	5回
2	ソフトテニス教室	一般男女 ファミリー50名	総合運動場 テニスコート	6/5～7/3 毎週日曜日 (予備日2日間)	5回
3	弓道教室	一般男女9名	町立武道館弓道場	5/7～6/4 毎週土曜日	5回
4	ゴルフ教室	一般男女20名	ファーストレイト ゴルフ練習場	6/10～7/8 毎週金曜日	5回
5	ふらば～るバレーボール教室	一般男女20名	みどりが丘小学校 体育館	8/29～9/26 毎週月曜日	4回
6	インディアカ教室	一般男女30名	東小川小学校 体育館	9/29～10/27 毎週木曜日	5回
7	バドミントン教室	一般男女 中学生30名	大河小学校 体育館	9/6～10/18 毎週火曜日	7回
8	町民・ジュニア スキー教室	一般男女 小中学生40名	群馬県かたしな高原 スキー場	未定	

③自主活動の支援・相談体制の充実

スポーツ・レクリエーション活動を自主的に活動できるように、町民のスポーツ推進に活躍しているスポーツ推進委員と連携して、支援・相談体制を充実します。

④地域スポーツの推進

地区民体育祭や駅伝、ソフトボール大会など各種スポーツ大会を開催し、健康増進、体力づくりに努め、地域住民の交流、親睦を図ります。

(2) スポーツ推進体制の充実

①体育協会活動等への支援

- ・スポーツ・レクリエーション団体の育成・援助

スポーツ推進体制の充実のため、体育協会やスポーツ少年団活動・大会の支援を行います。



スポーツ少年団親子大会（ハイキング）

②スポーツ・健康指導の充実

町民の健康やリフレッシュのための生涯スポーツや、介護予防のための体力づくりへの関心が高まるなか、スポーツを通じた地域間・世代間交流、子どもの健全育成など、地域社会におけるスポーツ活動も重要になっていることから、スポーツ・健康指導の充実を図ります。

③社会体育施設の有効活用

健康の増進と体力の向上を図るため、総合運動場、町営八幡台グラウンド、町立武道館などの社会体育施設の有効利用に努めます。



社会体育施設利用（ソフトテニス教室）

④情報提供・広報の充実

年間の生涯スポーツ行事予定を一覧表にまとめ、年度当初に全戸配布します。

また、「広報おがわ」やホームページにスポーツ教室の情報や各種大会の開催案内及び結果等を掲載し、広く町民のみなさんがスポーツに親しめるよう情報提供します。

（３）スポーツ施設の充実と開放

①総合運動場等の整備充実

体育施設をより良い状態で町民に利用してもらうために、総合運動場（多目的グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）、町営グラウンド、武道館、弓道場、小学校運動場照明（小川小、大河小）等の整備充実に努めます。

②学校体育施設開放の推進

健康の保持、体力づくりや地域のコミュニティ活動の推進を図ることを目的に、町内の小・中学校グラウンド及び体育館を学校教育に支障のない範囲で、スポーツ・レクリエーションの場として開放します。



学校体育施設開放（スポーツ少年団体カテスト）

開放にあたっては、教育委員会と学校で学校開放運営協議会を組織し、開放日程や施設の改善などを協議しています。また、学校ごとに利用者協議会を設置して利用者会議を毎月1回開催し、日程調整などを行います。

利用時間

区分	施設	曜日	利用時間帯
小学校	グラウンド	土・日曜日、祝日	日の出から17時まで
	体育館	土・日曜日、祝日	7時から21時30分まで
		月曜日～金曜日	19時から21時30分まで
中学校	グラウンド	土・日曜日、祝日	日の出から8時まで
	体育館	月曜日～日曜日	19時から21時30分まで

IV 教育機関・教育施設

1 町立小・中学校

小学校



小川町立八和田小学校

所在地 小川町大字上横田5 2 7番地
TEL 72-3130 FAX 74-5162

校長 稲垣 孝章
教頭 佐藤 英一



教育目標

- ・やさしい子…「笑顔」で他と関わり互いのよさを「認め合う子」
- ・わかるまで学ぶ子…「夢」の実現に向け他と共に「学び合う子」
- ・たくましい子…「元気」に根気強く活動し、他と共に「高め合う子」

特色

- (1) 確かな学力と自立する力を育成する教育の推進
- (2) 豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進
- (3) 学習環境の充実による質の高い教育の推進
- (4) 開かれた学校づくりによる家庭・地域との連携
- (5) 地域文化と「和紙のふるさと」小川町文化の継承

学校課題 「特別活動」

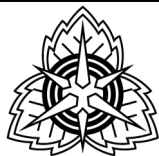
「豊かな学校生活を創造する学級活動の実践」
～ 望ましい人間関係を形成し、個を生かす集団活動の実践を通して ～

1. 【学校の現況】 5月1日現在

校地面積 12,434㎡ 校舎敷地 4,675㎡ 運動場面積 7,759㎡
校舎面積 3,466㎡ 屋体面積 719㎡
児童数 133 学級数 8 教員 13 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・明治 7年 2月 上横田小学校を輪禅寺に開校
- ・ 11年 7月 中爪村に東野平学校を創設し、分離
- ・ 14年 3月 能増村に市野川学校を創設し、分離
- ・ 19年 4月 上横田・東野平・市野川の3校を合併し、文明小学校と改称
- ・ 42年 5月 八和田尋常高等小学校と改称
- ・昭和50年 3月 開校100年記念誌発行
- ・ 55年 7月 校舎改築
- ・ 59年10月 県教委委嘱体力向上研究発表
- ・平成 6年 9月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年 7月 プール循環パイプ・ろ過装置の改修
- ・ 11年 3月 障害者(児)用スロープ設置 (3箇所)
- ・ 12年 3月 プール改修
- ・ 13年 3月 障害者(児)用スロープ設置 (体育館から図工室)
- ・ 13年 5月 コンピュータ機器更新
- ・ 13年10月 給食用エレベータ設置
- ・ 15年 4月 文部科学省『地域ぐるみの学校安全推進モデル事業』委嘱
- ・ 18年 8月 校舎1階廊下の滑り止め工事
- ・ 18年12月 校舎階段下アスベスト囲い込み工事
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 22年 2月 屋内運動場耐震補強工事
- ・ 22年 3月 図書室エアコン設置
- ・ 23年 3月 校庭入口に馬蹄柵設置
- ・ 26年 2月 開校140周年記念行事実施
- ・ 26年 8月 教室エアコン設置
- ・ 28年 1月 「道徳と特別活動の教育研究賞」論文が団体の部で最優秀賞を受賞



小川町立小川小学校

所在地 小川町大字小川3 7 7番地
TEL 72-0142 FAX 74-5163

校長 松澤 克己
教頭 関口 岩夫



教育目標

- ◎ 優しい子 ◎ 考える子 ◎ 元気な子

特色

- ・ 学力・体力・規律ある態度のバランスある取組の実践。
- ・ 既習学習の活用と家庭学習の充実に取り組み、基礎・基本の定着と学習規律の徹底。
- ・ ユニバーサルデザインに基づく授業の実践。
- ・ 教員の指導力の向上を図り、授業の質を高め、確かな学力の向上。
- ・ 小・中連携による積極的な生徒指導の推進
- ・ 青少年赤十字活動を取り入れた奉仕活動の推進
- ・ 朝の10分間、一斉読書とお話会の実施

1. 【学校の現況】 5月1日現在

校地面積 24,230㎡ 校舎敷地 11,616㎡ 運動場面積 12,614㎡
校舎面積 6,248㎡ 屋体面積 1,457㎡
児童数 399 学級数 14 教員 21 養護 1 県事務 1 用務 1 栄養教諭 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・明治 5年 9月 (仮学校) 霜里学校を西光寺に開校
- ・ 6年 8月 大河原学校を西光寺に正式開校
- ・ 7年 8月 民家に借家移転
- ・ 15年10月 校舎(洋風建築)新築移転
- ・ 22年 6月 尋常小学小川小学校と改称
- ・ 41年 7月 小川第一尋常小学校と改称
- ・ 43年 7月 大塚5番地に校舎新築移転
- ・昭和35年 7月 個人からプール寄贈(大塚氏)
- ・ 41年 2月 全国書初展優秀校
- ・ 42年10月 学校給食運営優良校として表彰
- ・ 46年12月 全日本リード合奏大会器楽部金賞
- ・ 53年 9月 現在地に校舎新築移転
- ・ 55年 9月 NHK全国音楽コンクール県代表
- ・平成元年11月 学校誌発行
- ・ 2年10月 体力向上研究発表
- ・ 7年 8月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年10月 校庭散水設備設置
- ・ 10年 9月 児童棟外壁の改修
- ・ 12年10月 プール改修工事
- ・ 13年 2月 学校歯科保健コンクール優良校として表彰
- ・ 14年 1月 東門設置
- ・ 15年 2月 学校歯科保健コンクール(県・優良校比企優秀校)表彰
- ・ 15年 4月 下里分校休校
- ・ 15年 4月 通級指導教室(言語・難聴)の開設
- ・ 19年 8月 コンピュータ機器更新
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 22年 3月 図書館エアコン設置
- ・ 23年 3月 分校廃校
- ・ 23年12月 児童棟耐震補強工事
- ・ 25年 2月 管理棟・体育館耐震補強工事
- ・ 28年 1月 児童棟エアコン設置

小学校



小川町立竹沢小学校

所在地 小川町大字木部90番地
TEL 73-1345 FAX 74-5165

校長 岡野 啓子
教頭 原 真佐巳



1. 【学校の現況】 5月1日現在
校地面積 13,447㎡ 校舎敷地 5,861㎡ 運動場面積 7,586㎡
校舎面積 3,635㎡ 屋体面積 1,070㎡
児童数 103 学級数 9 教員 15 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・明治 7年 1月 竹沢学校を朝負村民家に開校
- ・ 13年 勝呂村民家に借家移転
- ・ 23年 4月 木部安照寺に移転
- ・ 34年12月 現在地に校舎新築移転
- ・大正 9年 4月 竹沢尋常高等小学校と改称
- ・昭和30年 2月 竹沢小学校と改称
- ・ 33年 7月 校舎新築
- ・ 43年 6月 県教委委嘱学校管理研究発表
- ・ 44年 3月 校歌制定
- ・ 48年11月 県教委委嘱音楽研究
- ・ 49年 3月 体育館新築
- ・ 49年 5月 開校100周年事業開催
- ・ 52年 2月 「給食」研究発表
- ・平成 4年 2月 校舎新築
- ・ 4年 6月 プール新築
- ・ 5年 2月 コンピュータ機器設置
- ・ 5年 3月 体育館新築
- ・ 10年 5月 校舎前斜面緑化リニューアル
- ・ 13年 1月 県教委より「学校教育放送利用」の研究委嘱発表
- ・ 17年 2月 浄化槽ブロー改修工事
- ・ 17年 7月 教育用コンピュータ機器更新
- ・ 20年 3月 埼玉県環境緑化コンクール良好校受賞
- ・ 20年 5月 竹沢中学校記念碑除幕式及び供養塔を移築
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 25年 5月 プール改修工事(塗装)
- ・ 26年 9月 教室エアコン設置
- ・ 27年11月 埼玉県教育委員会委嘱「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業の研究発表

教育目標

- ◎ やさしく
- ◎ かしこく
- ◎ たくましく

特色

- ・ 主体的に学び、考え、実践する児童の育成
- ・ 豊かな人間関係の育成
- ・ 心身ともに健やかな児童の育成
- ・ 美しい教育環境の創造



小川町立大河小学校

所在地 小川町大字腰越209番地
TEL 72-0068 FAX 74-5166

校長 鷲巢 明喜
教頭 松澤 淳子



1. 【学校の現況】 5月1日現在
校地面積 20,499㎡ 校舎敷地 12,529㎡ 運動場面積 7,970㎡
校舎面積 5,615㎡ 屋体面積 1,400㎡
児童数 213 学級数 8 教員 16 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・明治 6年11月 金橋・天神小学校開校
- ・ 7年 仮に青山小学校開校
- ・ 9年 天神・青山両校合併し、古寺小学校とし、校舎新築移転
- ・ 16年12月 金橋小学校を増尾村民家に移転
- ・ 25年10月 大河尋常小学校と改称
- ・ 35年 5月 腰越・青山・古寺に分教場設置
- ・昭和 8年 5月 校舎新築
- ・ 13年 3月 個人から講堂寄付される
- ・ 22年 4月 大河小学校と改称
- ・ 39年10月 プール新築
- ・ 54年 3月 青山分校廃校
- ・ 57年 6月 校舎新築
- ・ 58年 3月 古寺分校廃校
- ・ 59年11月 創立111周年記念式典
- ・平成元年11月 緑化コンクール良好校
- ・ 6年11月 県教委委嘱特殊教育研究発表
- ・ 7年12月 コンピュータ機器設置
- ・ 11年 3月 「ふるさと大河」展示室開設
- ・ 14年 1月 正門扉設置
- ・ 14年 3月 櫛2世植樹・二宮尊徳像移設
- ・ 14年12月 県算数・数学教育研究会小川町教委委嘱発表
- ・ 19年 3月 腰越分校廃校
- ・ 20年 5月 プール改修工事(塗装)
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 22年 3月 図書館エアコン設置
- ・ 24年 4月 通級指導教室(セルフサポート教室)新設
- ・ 24年10月 校歌歌碑除幕
- ・ 26年 2月 第60回埼玉県学校歯科保健コンクール優良校
- ・ 26年 4月 「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業協力校
- ・ 27年 2月 第61回埼玉県学校歯科保健コンクール優良校
- ・ 27年 2月 「考え、話し合い、学び合う学習」授業研究会・発表会
- ・ 28年 1月 普通14教室にエアコン設置
- ・ 28年 2月 第62回埼玉県学校歯科保健コンクール優良校(3年連続)

教育目標

- ◎ 自ら学ぶ子
進んで学ぶ子 学び合う子
- ◎ やさしい子
相手の気持ちを考え、思いやりの心をもった子
- ◎ たくましい子
最後までやり抜く健全な心と体をもった子

特色

- ・ 学力向上のための3つの取組
- ・ 縦割り活動による好ましい人間関係づくり
- ・ 潤いのある自然環境の積極的活用
- ・ 地域ぐるみの防犯体制の充実

小学校



小川町立東小川小学校

所在地 小川町東小川2丁目21番地
TEL 74-1662 FAX 74-5168

校長 船橋 勇
教頭 島田 充也



教育目標

- ◎ やるきいっぱい (知)
- ◎ やさしきいっぱい (徳)
- ◎ げんきいっぱい (体)

特色 「笑顔があふれ、瞳が輝く、元気な学校」

- ① 児童にとって 「通ってよかった学校」
- ② 保護者にとって 「通わせてよかった学校」
- ③ 教職員にとって 「勤めてよかった学校」

学校課題 「道徳」

「ともに考えよりよく生活しようとする児童の育成」

1. 【学校の現況】5月1日現在
校地面積 24,895㎡ 校舎敷地 10,642㎡ 運動場面積 14,253㎡
校舎面積 4,793㎡ 屋体面積 727㎡
児童数 110 学級数 8 教員 12 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・昭和58年 4月 小川小学校から分離し、東小川小学校として校舎新築、開校
- ・ 58年 7月 プール新築
- ・ 58年11月 校歌・校旗制定
- ・ 60年 2月 体育館新築
- ・平成元年 3月 学級増による校舎増築
- ・ 4年11月 開校10周年記念式典挙行
- ・ 6年 9月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年10月 統計調査協力校として文部大臣表彰
- ・ 10年 8月 音楽室の改修
- ・ 12年 3月 物置設置
- ・ 12年 9月 図書室置コーナー設置
- ・ 13年 5月 コンピュータ機器更新
- ・ 14年10月 開校20周年記念式典挙行
- ・ 15年 4月 文部科学省「地域ぐるみの安全教育推進モデル事業」委嘱
- ・ 20年 9月 屋上笠木改修工事
- ・ 21年 1月 体育館屋根塗装
- ・ 21年 5月 プール改修工事
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 22年 3月 東校舎廊下・階段補修
- ・ 22年 3月 図書室エアコン設置
- ・ 23年 4月 埼玉県学校給食会「生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校」委嘱
- ・ 24年11月 開校30周年記念式典挙行
- ・ 25年10月 比企地区算数教育研究協議会研究発表
- ・ 26年10月 教室エアコン設置



小川町立みどりが丘小学校

所在地 小川町みどりが丘4丁目21番地1
TEL 74-4381 FAX 74-5169

校長 堀内 剛宣
教頭 浅見 敏明



教育目標

- ◎ すすんで学ぶ子
- ◎ 心豊かな子
- ◎ たくましい子

特色

- ・ 生き生きと学び合い、自信と誇りを持てる学校
- ・ 読書指導の充実
(読書ボランティア、読み聞かせ、国語指導の充実等)
- ・ 学校、家庭、地域との連携推進
(あいさつ運動、ふれあい作業、資源回収)
- ・ 学校応援団による支援
(見守り活動、交通指導、図書ボランティア等)

1. 【学校の現況】5月1日現在
校地面積 31,420㎡ 校舎敷地 19,906㎡ 運動場面積 11,514㎡
校舎面積 4,919㎡ 屋体面積 1,113㎡
児童数 218 学級数 10 教員 16 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・平成 3年 4月 小川小学校から分離し、みどりが丘小学校として校舎新築、開校
- ・ 3年 7月 プール新築
- ・ 3年 9月 校章制定
- ・ 3年11月 校歌・校旗制定
- ・ 4年 3月 体育館新築
- ・ 4年 3月 落成式典挙行
- ・ 6年 3月 西校舎増築
- ・ 6年 7月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年 4月 学区変更により、角山上・中地区が加わる
- ・ 9年 6月 「オオムラサギの森」完成
- ・ 9年 6月 シュート板の設置
- ・ 11年 6月 生活科用砂場設置
- ・ 13年 5月 コンピュータ、インターネット接続
- ・ 14年 1月 正門扉設置
- ・ 14年 8月 校庭南側雨水調整擁壁設置
- ・ 15年 8月 校庭散水機設置
- ・ 17年 4月 元気な学校をつくる地域連携推進事業県教育委員会指定(17~18年度)
- ・ 18年 6月 小学校体育授業研究委嘱 小川町教育委員会(18~19年度)
- ・ 19年 5月 小学校体育授業研究校 県教育委員会指定
- ・ 20年 4月 通級指導教室(発達・情緒)設置
- ・ 22年 2月 防災倉庫設置
- ・ 22年 3月 図書室エアコン設置
- ・ 22年 8月 音楽室床改修工事
- ・ 22年11月 開校20周年記念式典挙行
- ・ 26年 9月 普通教室空調設備設置工事完了
- ・ 27年 4月 いじめ防止のための望ましい人間関係づくり研究推進校委嘱、埼玉県教育委員会

中学校



小川町立東中学校

所在地 小川町大字小川1767番地1
TEL 72-0442 FAX 74-5170

校長 島田 康弘
教頭 小嶋 正義



1. 【学校の現況】 5月1日現在
校地面積 47,304㎡ 校舎敷地 14,400㎡ 運動場面積 32,904㎡
校舎面積 5,762㎡ 屋体面積 1,486㎡
生徒数 382 学級数 13 教員 24 養護 1 県事務 1 用務 1 栄養職員 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・昭和43年 4月 小川中学校と八和田中学校を統合し、東中学校として開校
- ・ 45年 3月 現在地へ校舎新築、移転
- ・ 46年 3月 体育館落成
- ・ 49年 5月 プール竣工
- ・ 57年10月 県教委委嘱体力向上研究発表
- ・ 61年 3月 校舎棟増築・テニスコート5面改修
- ・ 62年10月 文部省委嘱道徳研究発表
- ・平成元年 8月 校庭全面改修
- ・ 5年 9月 コンピュータ教室設置
- ・ 5年10月 体育館・管理棟大規模改修
- ・ 7年 8月 校舎棟大規模改修
- ・ 7年11月 県教委委嘱同和教育研究発表
- ・ 9年 9月 さわやか相談室設置
- ・ 9年11月 開校30周年記念式典挙行
- ・ 10年 8月 防球ネット新設
- ・ 11年11月 部室等改築
- ・ 12年 4月 東中校区「地域ぐるみの教育」県教委研究委嘱
- ・ 13年 4月 東中校区「家庭・学校・地域ふれあい推進事業」県教委研究委嘱
- ・ 14年 8月 校地内舗装工事
- ・ 16年12月 全国中学校駅伝競走大会に参加
- ・ 17年 9月 県教委中学校体育授業研究委嘱
- ・ 18年 4月 下水道工事
- ・ 21年 8月 浄化槽撤去工事
- ・ 22年11月 25地区進路指導・キャリア教育研究発表
- ・ 22年 2月 校舎棟・屋内運動場・管理棟耐震補強工事
- ・ 23年 4月 上野台中学校統合
- ・ 25年12月 校地内フェンス改修
- ・ 28年 1月 空調設備設置

教育目標

「知・徳・体のバランスのとれた心豊かな、たくましく
生きる生徒の育成」

- ◎ 進んで学ぶ生徒
- ◎ 心豊かな生徒
- ◎ 夢と希望に挑戦する生徒

特色

- ・ 全教育活動を通して、バランスの取れた知・徳・体の育成
- ・ 生徒会活動、部活動など、生徒活動の活性化
- ・ 広く地域に根ざした教育活動の推進



小川町立西中学校

所在地 小川町大字増尾250番地
TEL 72-0899 FAX 74-5171

校長 佐藤 路傍
教頭 新井 克仁



1. 【学校の現況】 5月1日現在
校地面積 40,430㎡ 校舎敷地 16,471㎡ 運動場面積 23,959㎡
校舎面積 3,734㎡ 屋体面積 1,298㎡
生徒数 175 学級数 8 教員 19 養護 1 県事務 1 用務 1

2. 【学校の沿革概要】

- ・昭和36年 4月 大河中学校と竹沢中学校を統合し、西中学校として開校
- ・ 39年 4月 現在地へ校舎新築、移転
- ・ 42年 4月 庭園岩石園造園
- ・ 44年 4月 学校緑化コンクール優良校表彰
- ・ 45年 5月 県教委委嘱進路指導研究発表
- ・ 46年 3月 体育館新築
- ・ 58年 5月 全日本学校緑化コンクール入選
- ・ 62年 8月 教室棟大規模改修
- ・平成元年 2月 管理棟大規模改修
- ・ 4年 1月 学校保健優良校表彰
- ・ 6年 2月 特別教室棟新築
- ・ 6年 2月 コンピュータ機器設置
- ・ 9年 1月 学校保健優良校表彰
- ・ 9年 9月 給食配膳室改築
- ・ 9年 9月 さわやか相談室設置
- ・ 10年 1月 県よい歯のコンクールよい歯の学校表彰
- ・ 10年 2月 学校保健優良校表彰
- ・ 11年11月 豊かな心を育む教育推進事業実践協力校(研究発表会)
- ・ 12年11月 中学生社会体験チャレンジ事業推進校
- ・ 14年 1月 正門扉設置
- ・ 15年 3月 校庭改修
- ・ 18年 4月 校外教育委嘱研究
- ・ 18年 6月 プールろ過装置改修工事
- ・ 22年 3月 図書室エアコン設置
- ・ 22年11月 開校50周年記念式典挙行
- ・ 25年 4月 校舎改築工事着工
- ・ 26年 8月 校舎改築工事竣工
- ・ 28年 1月 空調設備設置

教育目標

- ◎ 地域や人を愛する生徒
- ◎ 互いに学び合う生徒
- ◎ 自ら体を鍛える生徒

特色

- ・ 生徒が主役となり、生き生きと活動する学校
- ・ 職員が職務に誇りを持ち、協力・連携して教育活動を進める学校
- ・ 家庭・地域との協力体制を確立し、信頼される学校

中学校



小川町立礪台中学校

所在地 小川町大字角山1192番地
TEL 72-1192 FAX 74-1102

校長 山本 高志
教頭 竹田 圭志



1. 【学校の現況】5月1日現在
校地面積 34,340㎡ 校舎敷地 13,325㎡ 運動場面積 21,015㎡
校舎面積 5,474㎡ 屋体面積 1,223㎡
生徒数 104 学級数 5 教員 14 養護 1 県事務 1 用務 1
養護職員（看護師）1
2. 【学校の沿革概要】
 - ・平成 9年 4月 西中学校から分離し、礪台中学校として校舎新築、開校
 - ・ 9年 4月 開校記念日を11月4日とする
 - ・ 9年11月 開校記念式典挙行(校章・校旗・校歌の発表)
 - ・ 9年11月 P T A 発足
 - ・ 10年12月 毎日カップ体カづくりコンクール優秀賞(全国10校)受賞
 - ・ 13年 7月 中学生社会体験チャレンジ事業を開始
 - ・ 13年 9月 埼玉県中学校体育連盟主催授業研究発表
 - ・ 15年 4月 文部科学省・埼玉県教育委員会指定『学力向上フロンティアスクール』(2年間)
 - ・ 16年11月 西部地区学力向上推進協議会主催公開授業研究会
 - ・ 17年11月 25地区進路指導研究協議会
 - ・ 18年10月 学校創立10周年記念事業開催記念誌発行
 - ・ 22年 3月 図書室エアコン設置
 - ・ 23年 3月 刺繍校旗を新調
 - ・ 24年 4月 通級指導教室(発達・情緒)設置
 - ・ 26年 9月 教室エアコン設置
 - ・ 27年10月 第1回立志式挙行

教育目標

絆を深め、人と地域社会に貢献できる生徒の育成

◎自ら学ぶ (自ら進んで学び、学び方を身につけた実践力のある生徒の育成)

◎思いやる (思いやりと自立心のある心豊かな生徒の育成)

◎体を鍛える(心身共に健康で粘り強く取り組む生徒の育成)

特色

家庭・地域とつながり、笑顔・感動・夢にあふれる礪台中学校

1. 魅力あふれる教育活動の推進
(少人数指導・通級指導・体験活動・道徳指導の充実・立志式)
2. 地域に開かれた学校づくりの推進
3. 安心・安全・快適な学校づくりの推進
4. 信頼される教職員集団づくりの推進

【学校の現況】における数値について

基準日：5月1日

面積・教室数：公立学校施設の実態調査(文部科学省)における公立学校施設台帳登載の数値

生徒数・学級数・教員数等：学校基本調査(文部科学省)における学校調査票登載の数値

2 教育相談室・広域適応指導教室

〈教育相談室〉

幼児・児童・生徒に関する各種教育上の問題についての相談に応じています。

(1) 主な業務

- ① 幼児及び児童・生徒の教育上の問題について、本人・保護者・教職員等との相談
- ② 不登校や学校不適応児童・生徒に対する適応と自立に関する指導（適応指導教室との連携）
- ③ 町内各小・中学校の教育相談活動への支援と協力
- ④ 教育相談に関する調査・研究

(2) 主な相談内容

- ・心身の発達（知性・社会性・身体面等）について
- ・学習や行動面での様々な困難さのある子供について（落ち着きがない、学習に集中しづらい、友達関係がうまくいかない等）
- ・不登校や休みがちなお子様について
- ・いじめに関すること
- ・就学や進路に関すること
- ・非行、問題行動に関すること
- ・その他、子供の教育上の問題や悩み等

(3) 相談の場所

教育相談室 小川町高谷2507-18

☎ 0493-72-6859

子供電話相談

☎ 0120-88-4153(ヨイコソ)

相談室開設時間等

休日を除く月曜日～金曜日

午前9:00～午後4:30

相談者

教育相談専門員・常任相談員

〈小川町広域適応指導教室〉

小川町、滑川町、嵐山町、ときがわ町・東秩父村の町村立小・中学校の不登校の児童・生徒に対し学校と連携しながら学校生活への適応と自立のための支援を行っています。

(1) 支援内容

- ・学校生活（友達関係、学習や進路等）への不安や悩みの解消
- ・個々の状況に応じた学習の支援
- ・学校との連携による学校復帰への支援

(2) 場所

教育相談室 小川町高谷2507-18

☎ 0493-72-6859

(3) 活動時間

- ・休日を除く月曜日～金曜日
- 午前9:00～午後14:30

(4) 指導者

広域適応指導教室指導員及び指導補助員

〈さわやか相談室〉

生徒が学校生活における悩みや不安を気軽に相談できる場として、町内全中学校に「さわやか相談員」を配置し、様々な相談にきめ細かく対応しています。

またクールカウンセラーを各中学校に（月2回）配置し、相談活動の充実を図っています。

小川町立東中学校内

☎0493-72-7011

さわやか相談室 小川町立西中学校内

(直通電話) ☎0493-72-6555

小川町立樺台中学校

☎0493-72-8155

3 学校給食センター

【施設の概要】

所在地	小川町大字小川377番地
	TEL 0493(72)0673
設置年月日	昭和55年4月(平成4年8月増築)
建物延面積	841.4㎡
敷地面積	1,795㎡
建物構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造一部2階建



【給食の状況】

- ・調理食数 2,030食(平成28年5月現在)
- ・給食数 小学校 月額4,000円
中学校 月額4,700円
- ・年間給食回数 186回

【給食の沿革】

- 昭和30年 2月 町村合併により、旧町村時代に開設されていた学校の給食室を引き継いで、給食を実施。
- 41年 4月 小川377番地の小川中学校敷地一角に学校給食調理場を新築し、一部学校が共同調理方式に移行。(単独校を含め児童・生徒に完全給食が実施された。)
- 55年 4月 学校給食センターを新築し、町内全小中学校が共同調理方式に移行。
- 平成 4年 8月 5000食対応による増築。

【学校給食の基本方針】

- (1) 日常生活における食事について、正しい理解と望ましい食習慣を養う。
- (2) 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。
- (3) 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。
- (4) 食料の生産・配分及び消費について、正しい理解を導く。

【課題】

施設の老朽化が進み、今後について早く新しい給食センターづくりを検討したい。

【給食センターの運営】

給食センターの運営については、小・中学校長、PTAの代表、知識経験者(学校医、学校薬剤師等)で組織されている運営委員会で、年間の方針や収支状況などが審議されます。

- ・献立の決定

栄養教諭・学校栄養職員が献立案を作成し、各学校の給食主任、所長、栄養教諭・学校栄養職員、調理員代表による月例の給食主任会議で検討し、教育長の決裁を得て決定されます。

- ・主食内容

月曜日から金曜日まで5日間のうち、主食は概ね米飯3回、パン1回、めん類1回とします。なお、米は可能な限り小川町産を使用しています。

- ・牛乳内容

牛乳は通年200mlパックを基本とし、中学校のみ年間5回(7月～9月)250mlパックを供給しています。また、全校を挙げて牛乳パックリサイクルに取り組んでいます。

- ・残菜量調査

児童・生徒の嗜好の傾向を知るとともに、献立の工夫改善を図るため、残菜量調査を実施しています。また、残菜を堆肥・液体肥料にするなど、リサイクルしています。

- ・「食育」の推進

栄養教諭との連携により、各小中学校での授業や行事を通して、子供たちが食について計画的に学ぶことができるよう、積極的に支援しています。



調理作業

4 町立公民館

〈基本方針〉

- 1 生涯学習の拠点として、町民が「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりを目指します。
- 2 町民相互の交流を図る場として機能するよう努めます。
- 3 地域の特性を生かした魅力ある学習活動を展開します。



童謡・唱歌教室

〈事業の概要〉

1 講座・教室

青少年・女性・高齢者・成人・家庭教育の講座・教室を開催し仲間づくり、地域づくりを推進します。

2 体育・レクリエーション

体育祭や各種スポーツ大会を開催することにより、健康増進と地区民相互の親睦を図り、明るい地域社会をつくります。

3 公民館まつり（文化祭）

公民館利用団体や地域住民の発表の場を設けるため、各館ごとのまつりと、4館合同でのまつりを開催し、地域文化の向上とサークル活動の活性化を図ります。

4 小川町七つの祝

小学校入学の喜びと期待を持たせ、みんなで健やかな成長を願い祝い励まします。リリックおがわにて、4館合同で開催します。

5 公民館報の発行

公民館からのお知らせや地域の情報、地域住民の声等を掲載し、公民館だよりを随時発行します。



地区民体育祭



小川町七つの祝

小川町立中央公民館

【施設の概要】

所在地 小川町大字大塚33番地2
 TEL 0493(72)0342
 FAX 0493(72)0384

館長 礮田義文
 建物構造 鉄筋コンクリート造3階建
 建築年月日 昭和40年4月(平成3年3月改修)
 建物延面積 905㎡
 敷地面積 812㎡
 駐車場 収容台数7台
 休館日 第3日曜日・祝日・年末年始
 開館時間 午前9時より午後9時30分
 建物内訳 事務室・館長室・印刷室・和室
 講座室・大会議室・3階会議室

管内人口 15,261人
 管内世帯数 6,344世帯



分館 大塚コミュニティセンター
 所在地 小川町大字大塚897番地1
 TEL 0493(71)1061
 FAX 0493(71)1061

建物構造 鉄骨造 2階建
 建築年月日 平成10年4月
 建物延面積 359㎡
 敷地面積 561㎡
 駐車場 収容台数18台
 休館日 火曜日・祝日・年末年始
 開館時間 午前9時より午後9時30分
 建物内訳 研修室A・研修室B・研修室C・研修室D

【主な事業】

《学級・講座》

中央公民館クラブ (3回)
 小川和紙を使って
 大人可愛いうちわ作り (1回)
 童謡・唱歌教室 (5回)
 姿勢☆骨盤体操教室 (5回)
 子供茶道入門 (1回)
 親子わくわくカヌー体験
 (1回)
 小川地区高齢者講座 (2回)



大人可愛いうちわ作り教室



公民館まつり(舞台発表)



小川地区民ウオーキング

《体育・レクリエーション》

小川地区ソフトボール大会(5・9月)
 小川地区民体育祭(10月)
 小川地区民ウオーキング(3月)

《文化事業等》

第68回七夕まつり作品展(共催)(7月)
 第57回百人展(共催)(11月)
 小川町七つの祝(11月)
 第23回おがわコーラスフェスティバル
 (共催)(12月)
 第44回公民館まつり(2月)
 第19回武蔵の小京都おがわを描く展
 (後援)(2月)
 館報発行(随時)

小川町立大河公民館

【施設の概要】

所在地	小川町大字腰越43番地
	TEL 0493(72)0031
	FAX 0493(72)0031
館長	岡本 功
建物構造	鉄骨造2階建
建築年月日	昭和55年3月
建物延面積	1,078㎡
敷地面積	1,278.38㎡
駐車場	収容台数49台
建物内訳	事務室・館長室・和室 第1会議室・第2会議室 図書コーナー 調理実習室・体育室・音楽室 第3会議室・娯楽談話室



施設の特徴	身障者用トイレ・ピアノ設置
休館日	月曜日・祝日・年末年始
開館時間	午前9時より午後9時30分
管内人口	5,636人
管内世帯数	2,370世帯

【主な事業】

《学級・講座》

高齢者講座	(5回)
女性講座	(6回)
パソコン教室『ワート応用編』	(4回)
初心者のための『パソコン教室』	(4回)
ノルディックウォーク教室	(2回)
スウェーデン料理教室	(1回)
甘露梅づくり教室	(1回)
ハーモニカ教室	(6回)
入門編『水彩画教室』	(6回)
小川和紙でラッピングバック作り	(1回)



大河女性講座



高齢者講座



大河地区駅伝大会

《体育・レクリエーション》

大河地区ソフトボール大会	(5・9月)
大河地区三世代交流グラウンドゴルフ大会	(6月)
大河地区ゲートボール大会	(6月)
大河地区民体育祭	(10月)
大河地区ソフトバレーボール大会	(11月)
大河地区駅伝大会	(2月)

《文化事業等》

ふるさとまつり	(11月)
小川町七つの祝	(11月)
大河地区芸能大会	(11月)
第44回公民館まつり	(2月)
館報発行	(随時)

小川町立竹沢公民館

【施設の概要】

所在地 小川町大字勝呂799番地
 TEL 0493(72)1174
 FAX 0493(72)1174

館長 落合康之

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築年月日 平成4年2月

建物延面積 1,000㎡

敷地面積 1,672.62㎡

駐車場 収容台数70台

建物内訳 事務室・娯楽談話室・図書室
 会議室・料理実習室・和室
 大会議室・集会室・講習室



施設の特徴 身障者用トイレ・エレベーター
 水屋・電気陶芸炉
 ビデオプロジェクター

休館日 月曜日・祝日・年末年始

開館時間 午前9時より午後9時30分

管内人口 2,965人

管内世帯数 1,237世帯

【主な事業】

《学級・講座》

ふるさと歴史講座 (3回)

タブレット体験教室 (1回)

初めてのパッチワーク教室 (4回)

トーンチャイム体験教室 (6回)

リズム運動&筋トレ教室 (10回)

ヨガ体験教室 (5回)

小川町特産クジャクソウ
 摘み取り体験教室 (2回)

お家でできる簡単
 イタリアン料理教室 (3回)

パン作り教室 (2回)

子供パン作り教室 (1回)

高齢者教室 (8回)

竹沢ふれあい教室 (1回)

竹沢公民館クラブ
 日帰り工場見学等教室 (5回)

イキイキ転ばん教室
 前期 (10回)
 後期 (10回)



お家でできる簡単イタリアン料理教室



竹沢地区バレーボール大会



公民館まつり

《体育・レクリエーション》

竹沢地区ソフトボール大会 (4月)

竹沢地区女子バレーボール大会 (6月)

竹沢地区バレーボール大会 (6月)

竹沢地区グラウンド・ゴルフ大会 (9月)

竹沢地区民体育祭 (10月)

《文化事業等》

ファミリー映画会 (8月)

小川町七つの祝 (11月)

竹沢公民館まつり (11月)

第44回公民館まつり (2月)

竹沢公民館だより発行 (随時)

小川町立八和田公民館

【施設の概要】

所在地 小川町大字上横田1776番地
 TEL 0493(73)0548
 FAX 0493(73)0548

館長 島崎一夫

建物構造 鉄骨造2階建

建築年月日 昭和58年4月
 (平成9年10月増改築)

建物延面積 1,134.37㎡
 敷地面積 2,589㎡
 駐車場 収容台数49台

建物内訳 事務室・館長室・会議室
 和室・料理実習室・創作室
 視聴覚ホールA・視聴覚ホールB
 ミーティングルーム・大会議室



施設の特徴 身障者用トイレ・エレベーター
 グランドピアノ・陶芸がま
 120インチビデオプロジェクター

休館日 月曜日・祝日・年末年始

開館時間 午前9時より午後9時30分

管内人口 7,524人
 管内世帯数 2,980世帯

【主な事業】

《学級・講座》

銅板工芸教室(5回)
 かわいい干支人形教室(4回)
 レザークラフト教室(5回)
 ポルドブラ教室(5回)
 料理教室(8回)
 剪定教室(8回)
 作って、飛ばそう!
 親子模型飛行機教室(1回)
 女性講座(6回)
 高齢者講座(9回)



綱引き大会



グラウンド・ゴルフ大会

《体育・レクリエーション》

八和田地区三世交流グラウンド・ゴルフ大会(5月)
 八和田地区ソフトボール大会(5・11月)
 八和田地区ママさんバレーボール大会(6月)
 八和田地区綱引き大会(7月)
 老人クラブ対抗ゲートボール大会(9月)
 八和田地区民体育祭(10月)
 八和田地区駅伝大会(2月)
 八和田地区グラウンド・ゴルフ大会(3月)

《文化事業等》

文化祭(11月)
 小川町七つの祝(11月)
 第44回公民館まつり(2月)
 館報発行(随時)



文化祭(作品展示)

平成27年度公民館等事業実施状況及び利用状況

事業実施状況

単位:人

区分	体 育 事 業					文 化 事 業 等					小計 ①+②
	中央 公民館	大 河 公民館	竹 沢 公民館	八和田 公民館	計①	中央 公民館	大 河 公民館	竹 沢 公民館	八和田 公民館	計②	
主催 件数	2	1	1	3	7	2	3	4	3	12	19
主催 参加者数	2,695	1,844	1,655	2,372	8,566	370	595	557	943	2,465	11,031
共催 件数	2	4	4	4	14	3	0	0	0	3	17
共催 参加者数	315	624	425	614	1,978	1,809	0	0	0	1,809	3,787

単位:人

区分	学 級 ・ 講 座 事 業					合計 ①+②+③	再掲 学級・講座参加者のうち 実参加者合計
	中央 公民館	大 河 公民館	竹 沢 公民館	八和田 公民館	計③		
件数	24	16	35	14	89	125	
延参加者数	1,589	1,214	2,993	911	6,707	21,525	2,097(男466・女1,631)

利用状況

単位:人

区分	団 体 利 用						個人利用	合計	
	青少年団体	女性団体	成人団体	高齢者団体	その他団体	計			
利用 団体数	中央	2	4	102	3	81	192		
	大河	7	2	43	2	33	87		
	竹沢	5	0	39	0	20	64		
	八和田	9	2	57	1	49	118		
	計	23	8	241	6	183	461		
利用 回数	中央	2	28	2,337	51	713	3,131		
	大河	256	4	1,032	24	153	1,469		
	竹沢	55	0	808	0	175	1,038		
	八和田	50	17	1,066	5	241	1,379		
	計	363	49	5,243	80	1,282	7,017		
利用者 数	中央	36	377	19,597	483	9,036	29,529	0	29,529
	大河	1,938	29	7,334	448	2,841	12,590	42	12,632
	竹沢	818	0	7,301	0	3,689	11,808	0	11,808
	八和田	789	274	9,257	213	3,444	13,977	530	14,507
	計	3,581	680	43,489	1,144	19,010	67,904	572	68,476

※公民館事業(主催・共催)の参加者数を除く

利用者数 (公民館・年度別)

単位:人

	中央	大河	竹沢	八和田	計
平成23年度	30,685	11,214	9,532	15,627	67,058
平成24年度	32,031	12,329	9,271	14,736	68,367
平成25年度	30,039	11,832	11,725	14,239	67,835
平成26年度	31,120	13,008	10,438	14,885	69,451
平成27年度	29,529	12,632	11,808	16,168	70,137

※中央公民館は、大塚コミュニティセンターを含む

※公民館事業(主催・共催)の参加者数を除く

5 町立図書館

概要

建築年月日 平成12年10月
 延面積 3,071.57㎡
 敷地面積 3,725.47㎡
 建築構造 鉄筋コンクリートラーメン構造
 階数 地下1階・地上2階
 所在地 小川町大字大塚99番地1
 TEL 0493(72)5965
 FAX 0493(72)3185
 館長 新田文子

沿革概要

- 昭和30年 2月 旧町村の小川図書館・大河図書館・戸田図書館を引き継ぐ
- 40年 7月 大河図書館を小川図書館に合併し、小川町立図書館として中央公民館3階に併設移転
- 45年 6月 戸田図書館を小川町立図書館に移設
- 52年 4月 県立川越図書館車「はつかり号」駐車場設置
- 54年 7月 旧浦和地方法務局小川出張所を改造移転し独立館となる
- 63年10月 移動図書館車「せせらぎ号」運行開始
- 平成 元年 9月 学級文庫の貸出開始
- 10月 CD・カセットの貸出開始
- 9年 3月 小川町立図書館基本設計着手
- 13年 5月 小川町立図書館現在地に新築オープン（5月10日）
- 同 ファーストブック事業開始
- 14年 2月 2001彩の国さいたま景観賞受賞
- 14年 5月 第1回彩の国人にやさしい町づくり奨励賞受賞
- 22年 3月 新移動図書館車「せせらぎ号」運行開始
- 25年 5月 Web予約の開始
- 25年10月 埼玉・教育ふれあい賞受賞
- 26年12月 宅配サービスの開始

基本方針

- 1 社会教育法の精神を受け継ぎ、図書館法及び小川町立図書館条例第1条の定めるところを实践し、町民の教育と文化の発展に寄与することに努める。
- 2 図書館は生涯学習の場であり、知る自由をもつ全ての町民に資料と情報と施設を提供することを最も重要な任務とし、そのための条件整備を常に図り、その期待に応えるよう努める。
- 3 小川町の図書館サービスが成立するための諸条件を常に考究し、町民が誰でも幅広く利用できる生涯学習の拠点となるよう、町民とともに小川町らしい図書館づくりをめざす。



重点目標

- ・図書館資料の構築と充実
- ・各種サービスの充実
- ・集会事業の充実
- ・県内図書館との協力関係の構築
- ・類縁機関との協力
- ・関係諸団体の育成
- ・ネットワークによる情報サービスの充実

利用案内

利用時間	火・水・木・土・日曜日・祝日 午前10時～午後6時 金曜日 午前10時～午後7時 まちの情報コーナー、くつろぎコーナーは、開館時間の1時間前からご利用できます。 (土・日・祝日は30分前から。)
休館日	毎週月曜日（国民の祝日は除く） 館内整理日（毎月第4木曜日） 特別整理期間（年10日以内）年末年始 国民の祝日の翌日（土・日曜日を除く）
貸出	図書・雑誌・紙芝居 15日間10冊まで CD・カセットテープ 15日間3点まで ビデオ・DVD 15日間1点まで 絵画 30日間1点まで

移動図書館

- 1 名称 せせらぎ号
2 積載冊数 1,800冊
3 運行開始 昭和63年10月
(平成22年3月16日 新型車に変更)

4 開設場所

- Aコース 第1・3水曜日
武道館・ふれあいプラザおがわ・
東小川自治会館・星の子学童保育クラブ
Bコース 第2・4水曜日
竹沢公民館・深田第一公園・みどりが
丘自治会館脇・ちびっこ放課後学童クラブ



移動図書館車「せせらぎ号」

学級文庫

町内全ての小学校を学期ごとに「せせらぎ号」で巡回し、全クラスを対象に図書を貸し出す。

各種講座開催事業

- ・おはなし講座
- ・文学講座
- ・絵本の読み聞かせ入門講座



親子で楽しむおはなし会

その他の事業

- ・おはなし会
- ・時局・季節行事・作家等の企画展
- ・図書館まつり（2日間各種イベント開催）
- ・こどもフェスティバル（夏休み・冬休み開催）
- ・コンサート
- ・親子で楽しむおはなし会（わらべうた等）
- ・科学あそび
- ・大人のためのおはなし会
- ・ぬいぐるみのおはなし会
- ・春休みこどもおはなし会
(幼児・就学前児童・小学生)
- ・こども映画会（夏休み・冬休み・春休み）
- ・ファーストブック



図書館まつり「フィナーレ」



図書館まつり「むかしあそび（おてだま・おはじき）」



図書館まつり「スタンプラリー」

図書館資料

蔵書の状況（平成28年3月31日現在）

区 分	一般書	児童書	ヤング・アダルト	地域行政資料	雑 誌	A V	合 計
蔵書点数	183,454	56,459	10,502	15,399	12,507	10,889	289,210

資料の利用状況（貸出点数平成27年度）

一般書(郷土資料含む)	児童書	Y A	雑 誌	A V	計
136,943	63,850	13,177	17,170	20,319	251,459
学級文庫貸出	小学校延べ135クラス				12,466(上記に含む)
移動図書館貸出	町内8ステーション				2,683(上記に含む)
合 計					251,459

6 社会体育施設一覧

No.	施設名	所在地	面 積	施 設 内 容	設置年度
1	小川町営八幡台グラウンド	小川町大字大塚440	10,200㎡	多目的グラウンド(野球1面) トイレ、物置	昭和43年度
2	小川町立武道館	小川町大字高谷2510	613.38㎡	柔剣道場 弓道場(射場・的場3人立ち) 管理室、更衣室、トイレ	昭和55年度
3	小川小学校運動場照明	小川町大字小川377	(照明面積) 12.614㎡	照明灯6基(8灯/基)	昭和57年度
4	大河小学校運動場照明	小川町大字腰越209	(照明面積) 7.970㎡	照明灯6基(8灯/基)	昭和58年度
5	小川町総合運動場	小川町大字高谷141-1 TEL 74-2645	(多目的グラウンド) 13.020㎡	ソフトボール2面、サッカー1面、 200mトラック8コース、芝生スタンド	昭和62年度
			(ゲートボール場) 1.450㎡	ゲートボール2面、シェルター	
			(管理等) 210㎡	事務室、更衣室、トイレ、ロビー	昭和63年度
			テニスコート 2,462.3㎡	クレーコート4面、シェルター棟 スタンド	
テニスコート 4,200.7㎡	クレーコート6面 スタンド	平成元年度			

平成27年度社会体育施設利用状況

施 設 名	利 用 回 数	利 用 人 数
町 営 八 幡 台 グ ラ ウ ン ド	601	48,681
町 立 武 道 館	843	11,802
小 川 小 運 動 場 照 明	181	3,801
大 河 小 運 動 場 照 明	140	2,100
総 合 運 動 場 テ ニ ス コ ー ト	1,473	22,095
総 合 運 動 場 多 目 的 グ ラ ウ ン ド	220	29,700
総 合 運 動 場 ゲ ー ト ボ ー ル コ ー ト	159	2,385

※利用人数については、利用回数に応じた参考値となっています。

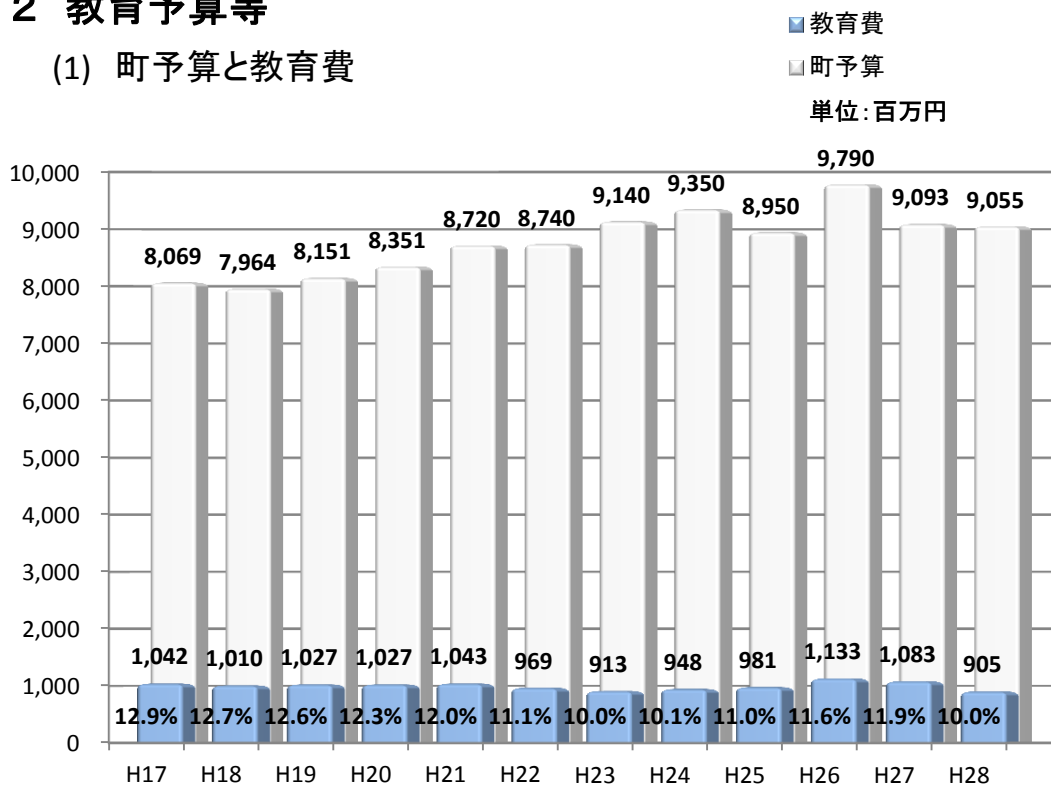
V 教育関係資料

1 小川町教育の沿革

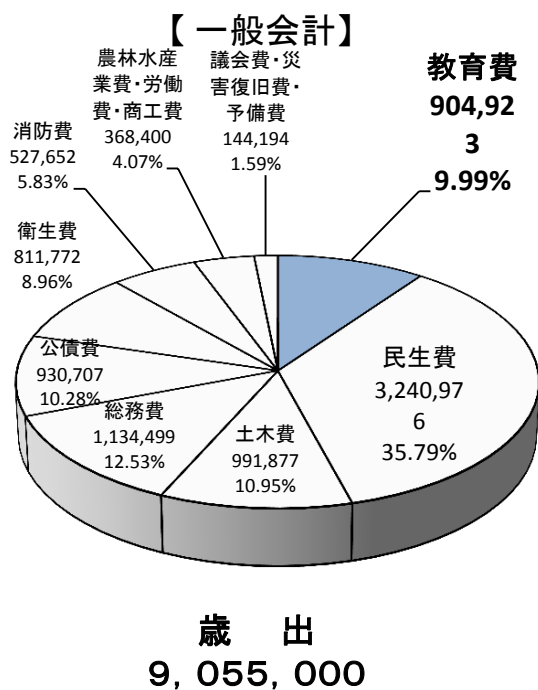
	年	月	事 項
昭和	30	2	小川町・八和田村・竹沢村・大河村合併「小川町」発足
	31	1	寄居町大字西古里、鷹巣の一部小川町へ編入 ※教育施設 小学校8校(うち分校4) 中学校4校 公民館4館 図書館3館
	33	7	竹沢小学校新築
	36	4	大河中及び竹沢中統合、西中学校設置
		11	小川町史刊行
	39	3	下里分校新設
		4	西中学校新築、移転
	40	7	中央公民館新築
	41	4	学校給食調理上設置(小川377)
	42	9	埼玉国体炬火が堂平で行われる
	43	4	小川中及び八和田中統合、東中学校設置
	44	3	町営グラウンド完成
	45	3	東中学校新築、移転
		3	東中及び西中体育館新築
		6	戸田図書館を小川町立図書館に移設
	46	11	県立少年自然の家開設
	49	2	小川町学制百年記念式典挙行
	52	4	組織改編により、総務課・学校給食共同調理場の2課制となる
	53	9	小川小学校新築移転(大塚55から小川377)
	54	3	大河小学校青山分校廃校
		7	図書館移転(大塚33-2から大塚1163)
	55	3	学校給食センター新築
		3	大河公民館・小川町勤労青少年ホーム新築
		7	八和田小学校新築
	56	3	武道館新築(高谷2510)
	57	6	大河小学校新築
	58	3	大河小学校古寺分校廃校
		4	東小川小学校新築、開校
		4	八和田地区多目的研修所(公民館)新築移転(上横田555-1から上横田1776)
	60	2	小川町合併30周年記念式典挙行、町の木、町の鳥、町の花制定
		10	「健康・スポーツの町」宣言
	63	3	総合運動場(多目的グラウンド・管理棟)完成
	平成	元	3
		5	総合運動場(第1テニスコート)完成
		11	町村制施行100周年記念式典挙行
3		4	みどりが丘小学校新築、開校
4		2	竹沢小学校新築
		3	竹沢公民館・勤労福祉センター新築移転(木部85-1から勝呂799)
		4	町史編さん事業開始
5		4	組織改正により教育総務課・社会教育課・学校給食センターの3課となる
		4	上野台中学校新築、開校
		12	第1回和紙マラソン大会開催
6		3	みどりが丘小学校増築
		3	西中学校特別教室棟新築
7		12	小中学校全校にコンピューター教室改造・機器設置完了
9		4	樺台中学校新設、開校
10		7	語学指導を行う外国青年招致事業開始
13		5	図書館新築、移転(大塚1163から大塚99-1)
14		5	教育相談室、図書館跡地に移転(大塚55から大塚1163)
15		4	小川小学校下里分校・大河小学校腰越分校 休校
		4	小川小学校に通級指導教室(難聴・言語)設置
16		4	広域適応指導教室設置
17		1	小川町合併50周年記念「小川町のあゆみ」刊行、町史編さん事業終了
18		4	組織改正により学校教育課・生涯学習課の2課制となる
19		3	大河小学校腰越分校廃校
20		3	総合運動場(テニスコートA・B面)改修
		4	みどりが丘小学校に通級指導教室(発達・情緒)設置
		9	総合運動場(テニスコートC・D面)改修
21		9	総合運動場(テニスコートE～J面)改修
22		3	武道館改修工事
23	3	小川小学校下里分校廃校	
	3	上野台中学校を東中学校へ統廃合	
24	4	大河小学校に通級指導教室(発達・情緒)設置	
	4	樺台中学校に通級指導教室(発達・情緒)設置	
26	8	西中学校改築	
26	9	八和田小学校・竹沢小学校・みどりが丘小学校・樺台中学校に空調設備設置	
26	10	東小川小学校に空調設備設置	
26	12	教育相談室移転(大塚1163から高谷2507-18)	
28	1	小川小学校・大河小学校・東中学校・西中学校に空調設備設置	

2 教育予算等

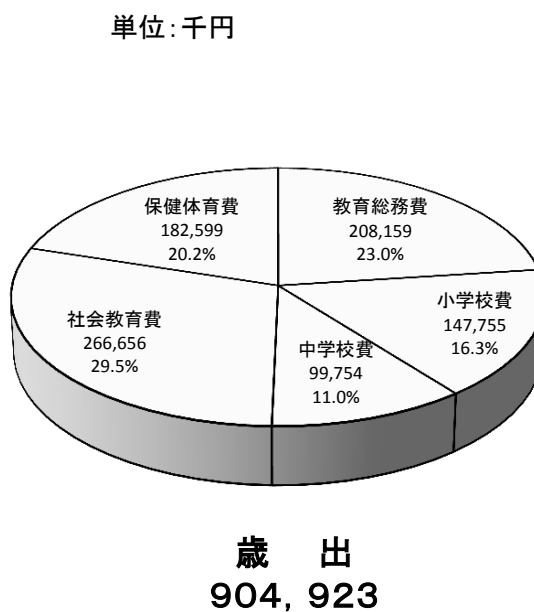
(1) 町予算と教育費



(2) 平成28年度予算



【教育費】



(3) 平成28年度教育費当初予算(歳出)

単位:千円

費目	28年度当初予算	27年度当初予算	比較増減	対前年度比較率(%)
一般会計総額	9,055,000	9,093,000	△ 38,000	△ 0.4
教育費総額	904,923	1,083,048	△ 178,125	△ 16.4
項目				
1. 教育総務費	208,159	399,542	△ 191,383	△ 47.9
1. 教育委員会費	1,033	1,034	△ 1	△ 0.1
2. 事務局費	207,126	398,508	△ 191,382	△ 48.0
2. 小学校費	147,755	136,739	11,016	8.1
1. 学校管理費	132,828	123,301	9,527	7.7
2. 教育振興費	14,927	13,438	1,489	11.1
3. 中学校費	99,754	97,175	2,579	2.7
1. 学校管理費	87,364	84,882	2,482	2.9
2. 教育振興費	12,390	12,293	97	0.8
4. 社会教育費	266,656	266,809	△ 153	△ 0.1
1. 社会教育総務費	77,688	79,899	△ 2,211	△ 2.8
2. 公民館費	87,482	85,031	2,451	2.9
3. 図書館費	101,486	101,879	△ 393	△ 0.4
5. 保健体育費	182,599	182,783	△ 184	△ 0.1
1. 保健体育総務費	12,013	12,337	△ 324	△ 2.6
2. 体育施設費	22,093	17,460	4,633	26.5
3. 学校給食センター費	148,493	152,986	△ 4,493	△ 2.9

(4) 人口1人当りの教育費の推移

区分	教育費(人口1人当り)					
	教育総務費	小学校費	中学校費	社会教育費	保健体育費	合計
24年度	5,801	4,055	4,426	7,976	6,060	28,318
25年度	6,698	4,110	4,621	8,279	5,995	29,703
26年度	10,369	4,050	6,312	8,130	6,018	34,879
27年度	12,516	4,284	3,044	8,358	5,726	29,703
28年度	6,645	4,717	3,184	8,512	5,829	28,887

※当初予算額にて積算

(5) 児童1人当りの教育費(小学校費)の推移

区分	毎年5月1日 現在の児童数	小学校費					
		学校管理費	児童1人当り	教育振興費	児童1人当り	合計	児童1人当り
24年度	1,346	121,320	90,134	14,467	10,748	135,787	100,882
25年度	1,291	121,745	94,303	14,106	10,926	135,851	105,229
26年度	1,241	117,593	94,757	14,048	11,320	131,641	106,077
27年度	1,224	123,301	100,736	13,438	10,979	136,739	111,715
28年度	1,176	132,828	112,949	14,927	12,693	147,755	125,642

※当初予算額にて積算

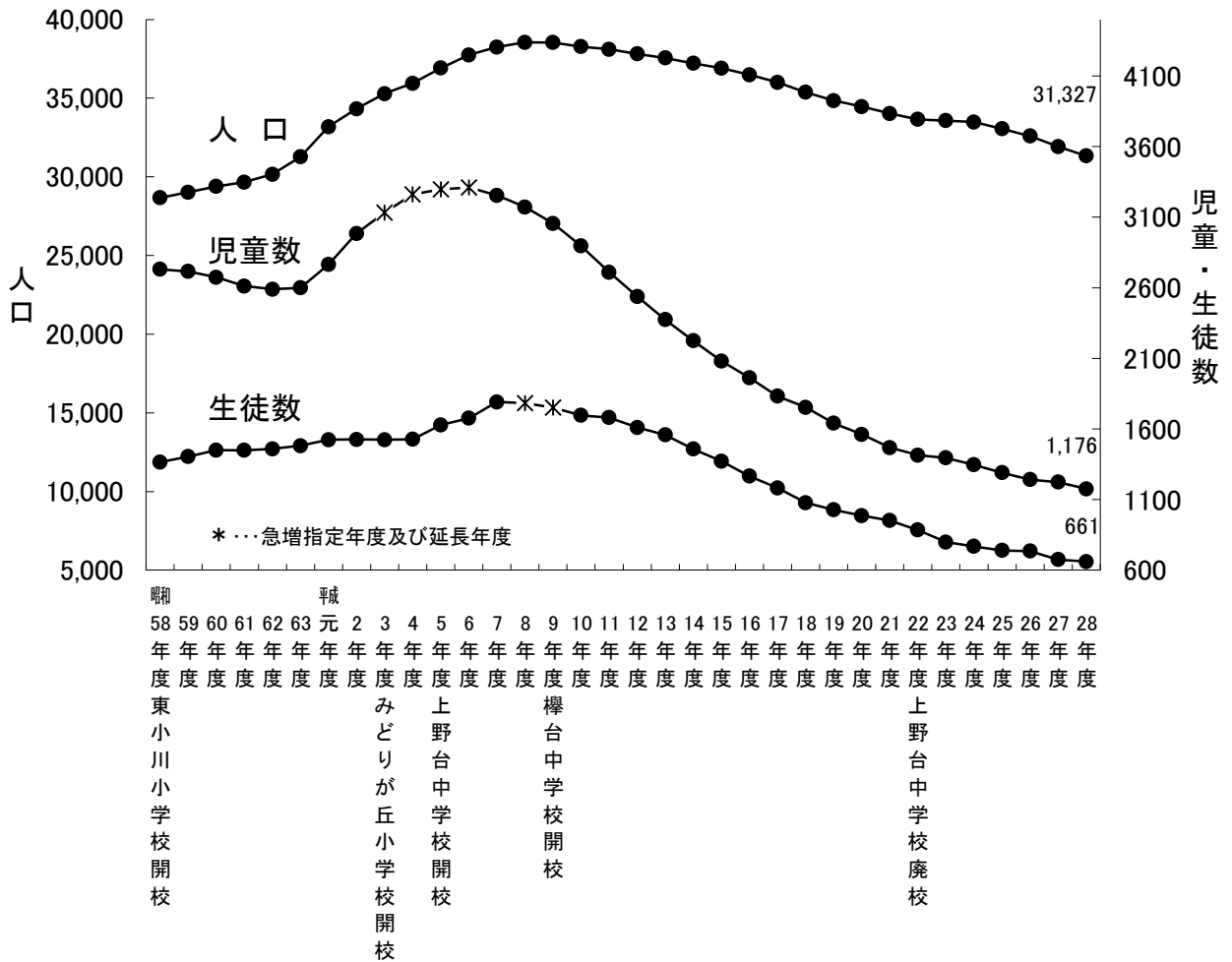
(6) 生徒1人当りの教育費(中学校費)の推移

区分	毎年5月1日 現在の生徒数	中学校費					
		学校管理費	生徒1人当り	教育振興費	生徒1人当り	合計	生徒1人当り
24年度	769	137,929	179,362	10,287	13,377	148,216	192,739
25年度	740	139,940	189,108	12,822	17,327	152,762	206,435
26年度	735	192,014	261,244	13,147	17,887	205,161	279,131
27年度	675	84,882	125,751	12,293	18,212	97,175	143,963
28年度	661	87,364	132,169	12,390	18,744	99,754	150,914

※当初予算額にて積算

3 児童・生徒数等

(1) 人口・児童・生徒数の推移



(2) 児童・生徒数及び学級数

(平成28年5月1日現在)

学 校 名	児 童 ・ 生 徒 数								学 級 数								
	通 常 の 学 級							特 別 支 援 学 級	合 計	通 常 の 学 級						特 別 支 援 学 級	合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年			2 年	3 年	4 年	5 年	6 年			
八和田小	18	23	22	20	22	26	2	133	1	1	1	1	1	1	2	8	
小川小	68	52	63	70	70	69	7	399	2	2	2	2	2	2	2	14	
竹沢小	12	8	19	16	17	28	3	103	1	1	1	1	1	1	3	9	
大河小	36	34	35	36	38	33	1	213	2	1	1	1	1	1	1	8	
東小川小	13	16	13	24	19	22	3	110	1	1	1	1	1	1	2	8	
みどりが丘小	44	39	32	40	27	34	2	218	2	2	1	1	1	1	2	10	
小学校合計	191	172	184	206	193	212	18	1,176	9	8	7	7	7	7	12	57	
東中	131	102	142	/	/	/	7	382	4	3	4	/	/	/	2	13	
西中	59	52	60	/	/	/	4	175	2	2	2	/	/	/	2	8	
榎台中	36	35	30	/	/	/	3	104	1	1	1	/	/	/	2	5	
中学校合計	226	189	232	/	/	/	14	661	7	6	7	/	/	/	6	26	

4 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

氏名	内耳鼻眼歯薬の別	担当校	氏名	内耳鼻眼歯薬の別	担当校
内田博之	内	竹沢小、西中	小熊和彦	歯	東中
大野修嗣	内	樺台中	高野実	歯	小川小
笠原宏	内	大河小	鈴木博康	歯	樺台中
木下仁一	内	小川小	高橋健児	歯	八和田小、西中
木下美知子	内	みどりが丘小	土岐光伸	歯	東小川小
北川秀樹	内	東小川小	鳥塚周孝	歯	竹沢小、西中
高野憲一郎	内	八和田小	中村裕史	歯	大河小、東小川小
真田竹生	内	西中	前田将博	歯	小川小、東中
瀬川豊	内	東中	渡部俊哉	歯	みどりが丘小
中村陽行	内	小川小	井上忠義	薬	大河小
野崎浩	内	大河小	門倉雅子	薬	八和田小
柳澤守文	内	東中	松島喜久夫	薬	小川小、西中
田口裕嗣	耳	八小、竹小、東小、み小、東西中	島田悦男	薬	竹沢小、東小川小
野崎信行	耳	小川小、大河小、樺台中	岡勢美子	薬	みどりが丘小、東中、樺台中
新井早苗	眼	竹小、大小、東小、西中、樺中			
田中真理子	眼	八小、小川小、み小、東中			
新井英夫	歯	小川小、大河小			

5 各委員会等委員一覧

(1) 小川町教育支援委員会委員

※印は委員長

任期 平成27年5月1日～平成29年4月30日

氏名	所属	備考	氏名	所属	備考
瀬川 豊※	比企医師会会長	小川町大塚	野田貴文	大河小学校教諭	特別支援学級主任
菊地原 新	小川赤十字病院精神科補綴科医師	〃 小川	手塚寿子	大河小学校教諭	特別支援教育コーディネーター
香田義光	教育相談室専門員		山崎恭子	東小川小学校教諭	教育相談主任
吉原雄二	教育相談室常任相談員		吉田絹子	みどりが丘小学校教諭	特別支援学級担任
佐藤千恵子	教育相談室常任相談員		吉田千佳	みどりが丘小学校教諭	通級指導担当
松澤克己	小川小学校長		八木原佐智子	東中学校教諭	特別支援教育コーディネーター
稲垣孝章	八和田小学校長		土屋浩郁	西中学校教諭	特別支援教育コーディネーター
島田康弘	東中学校長		山田いづみ	樺台中学校教諭	特別支援教育コーディネーター
栗原清江	八和田小学校教諭	特別支援学級担任	山口悦子	樺台中学校教諭	人権教育担当
伊豆野文子	小川小学校教諭	特別支援学級担任	原川幸子	子育て支援課保育士	八和田保育園長
高橋一恵	小川小学校教諭	通級指導教室担当	高畑弥子	健康福祉課保健師	保健師
小泉みよこ	竹沢小学校教諭	生徒指導主任	矢島 玲	児童家庭支援センター	臨床心理士

(2) 教育相談員

任期 平成28年4月1日～平成29年3月31日

学校等	氏名	職名	担任及び校務分掌	学校等	氏名	職名	担任及び校務分掌
教育相談室	香田義光	教育相談専門員		大河小学校	手塚寿子	常任相談員	通級指導教室担任・教育相談主任 特別支援教育コーディネーター
教育相談室	吉原雄二	常任相談員	広域適応指導教室指導員	東小川小学校	吉田和男	常任相談員	教務主任 教育相談主任
教育相談室	佐藤千恵子	常任相談員	広域適応指導教室指導補助員	みどりが丘小学校	吉田千佳	常任相談員	通級指導担当
八和田小学校	栗原清江	常任相談員	特別支援学級担当 特別支援教育コーディネーター 教育心理・教育相談	東中学校	八木原佐智子	常任相談員	特別支援学級担任 特別支援コーディネーター
小川小学校	吉岡慶子	常任相談員	教育相談主任	西中学校	植田まど佳	常任相談員	教育相談主任 福祉教育主任
竹沢小学校	小泉みよこ	常任相談員	特別支援学級担任 教育心理・教育相談主任	樺台中学校	山口悦子	常任相談員	通級指導教室

(3) 学校給食センター運営委員会委員

※印は委員長

任期 平成28年4月1日～平成30年5月31日

氏名	所属	氏名	所属
松澤克己 ※	小川小学校長	山口浩司	西中学校PTA代表
岡野啓子	竹沢小学校長	赤岩佳慧	大河小学校給食主任
稲垣孝章	八和田小学校長	山田いづみ	樺台中学校給食主任
船橋 勇	東小川小学校長	木下美知子	学校医
島田康弘	東中学校長	土岐光伸	〃
奥平吉康	小川小学校PTA代表	早川逸雄	学校薬剤師
野口陽江	大河小学校PTA代表	岡勢美子	〃
八木田留美	みどりが丘小学校保護者委員会代表	川崎貴子	保健所職員
栢盛武昭	東中学校PTA代表		

(4) 人権教育推進協議会委員

※印は委員長

任期 平成28年5月1日～平成30年4月30日

氏名	所属	氏名	所属
堀内剛宣 ※	みどりが丘小学校長 (小中学校長代表)	島崎一夫	八和田公民館長 (社会教育施設関係)
小田倉和巳	小川小学校 (人権教育主任)	新田文子	図書館長 (社会教育施設関係)
中澤晴美	大河小学校 (人権教育主任)	村上紀子	民生・児童委員
小林真知	東小川小学校 (人権教育主任)	番場 修	社会教育委員長
山口悦子	樺台中学校 (人権教育主任)	千野秀夫	体育団体代表
磯田義文	中央公民館長 (社会教育施設関係)	柏保厚一	PTA連合会代表
岡本 功	大河公民館長 (社会教育施設関係)	島田貴子	人権擁護委員
落合康之	竹沢公民館長 (社会教育施設関係)	栗生田寿彦	町人権施策担当者 総務課主幹

(5) 社会教育委員

※印は委員長

任期 平成27年5月1日～平成29年4月30日

氏名	所属	氏名	所属
岡野啓子	竹沢小学校長（小学校長代表）	北嶋 薫	学識経験者
山本高志	櫛台中学校長（中学校長代表）	吉田徳匡	〃
寰口要寿	東小川小PTA会長(小学校PTA代表)	栗生田公代	〃
中島輝明	西中PTA会長（中学校PTA代表）	大塚真知子	〃
新井 芝	おがわ文化会代表	栗原悌二	〃
千野秀夫	体育協会代表		
番場 修 ※	学識経験者		

(6) 生涯学習推進町民協議会委員

※印は委員長

任期 平成26年11月1日～平成28年10月31日

氏名	所属	氏名	所属
小原孝一	公募	前原紀子 ※	学識経験者
山岸幸男	区長会長	島田 弘	〃
番場 修	社会教育委員長	伊藤一郎	〃
明地 勝	公民館運営審議会長	真崎百合子	〃
小澤 弘	スポーツ推進審議会代表		

(7) 公民館運営審議会委員

※印は委員長

任期 平成27年5月1日～平成29年4月30日

氏名	所属	氏名	所属
岡野啓子	竹沢小学校校長（小中学校長代表）	松本 勝	学識経験者
内田 弘 ※	小川地区区長会長	玉川光宏	〃
伊藤國男	大河地区区長会長	根岸 淳	〃
原口千嘉之	竹沢地区区長会長	大澤睦美	〃
新井孝明	八和田地区区長会長	今村忠明	〃
大塚美和子	学識経験者	坂元フミエ	〃
高橋多美	〃	馬場敏子	〃
内田兼造	〃	宮澤京子	〃
中熊フミヨ	〃		

(8) 図書館協議会委員

※印は委員長

任期 平成28年5月1日～平成30年4月30日

氏名	所属	氏名	所属
船橋 勇	東小川小学校長（小学校長代表）	栗原悌二 ※	学識経験者
佐藤路傍	西中学校長（中学校長代表）	小林桂子	〃
江原克枝	学識経験者	岩崎信子	〃
清水敦子	〃	中野佐知子	〃
野口依子	〃	森 正子	〃

(9) 文化財保護委員

※印は委員長

任期 平成27年5月1日～平成29年4月30日

新田文子委員任期 平成28年5月1日～平成30年4月30日

氏名	専門分野	氏名	専門分野
吉田 稔 ※	有形文化財・古文書	黒坂禎二	埋蔵文化財
杉田 勝	天然記念物・植物	新田文子	民俗、近・現代史
高瀬 正	有形文化財・建造物	青木繁夫	文化財保存科学

(10) スポーツ推進委員

※印は委員長

任期 平成28年4月1日～平成30年3月31日

氏名	種目	氏名	種目
島田男子 ※	卓球	幡谷美津保	バドミントン
岩木賢一	バレーボール・硬式テニス	小栗真紀	硬式テニス
恩田邦彦	ソフトボール	大橋輝雄	バドミントン
大木恵美子	ソフトボール・ソフトテニス	藤田亜矢子	陸上(長距離)
寫田誠一	ソフトボール	篠澤和泉	ゴルフ
原川 功	ソフトボール	福田由美子	バレーボール
樺澤聡子	バレーボール	大木瑞季	サッカー・ソフトボール
恩田昭広	ソフトボール・ソフトバレー	田中正昭	ソフトボール・野球
金子治夫	ソフトボール	立木智美	バドミントン・ソフトボール
内田兼造	ソフトテニス	千野博之	ソフトボール・野球

(11) スポーツ推進審議会委員

※印は会長

任期 平成27年5月1日～平成29年4月30日

氏名	所属	氏名	所属
千野秀夫	体育協会	恩田達司 ※	学識経験者
小澤 弘	スポーツ少年団	瀬川 豊	〃
島田男子	スポーツ推進委員	原口 博	〃
黒澤道好	学識経験者	山崎浩司	行政機関職員

6 文化・教育団体(補助団体)

(1) 文化団体

団体名	代表	構成人員	団体名	代表	構成人員
下里ささら獅子舞保存会	安藤昭美	230人	古寺太鼓保存会	荒井 昇	23人
因縁和無形文化財保存会	松本 雄一	69戸	小川町仙元太鼓保存会	山口博明	30人
おがわ文化会	新井 芝	99人	小川町PTA連合会	柏俣 厚一	1,495人
細川紙技術者協会	久保証一	10人	小川班教育研究会	大久根 勇	186人
小川祭ばやし保存会	櫻井克浩	70人	小川町子ども会連絡協議会	粟生田公代	1,838人
神田囃子保存会	吉田武志	37人	小川町体育協会	瀬川 豊	2,126人
奈良梨若連	関根則夫	26人	小川町スポーツ少年団	小澤 弘	458人

(2)小川町体育協会役員及び加盟団体一覧

平成28年5月13日現在

①役員

会長： 瀬川 豊 副会長： 野澤 保雄 木村 弘
 理事長： 千野 秀夫 副理事長： 島田 敏夫 桜井国次
 監事： 松本 征万 佐藤 守朗 幹事： 湯本 貴 栢盛 武昭 関口 浩幸

②加盟団体

団体名	会長名	構成人員		
		男	女	計
小川町野球連盟	高橋秀夫	222人	2人	224人
小川町庭球協会	宮崎通泰	83人	35人	118人
小川卓球クラブ	生水口俊夫	8人	2人	10人
小川町ソフトボール協会	松本恒夫	323人	2人	325人
小川町バレーボール連盟	山崎孝輔	37人	138人	175人
小川町陸上競技協会	瀬川 豊	48人	2人	50人
小川山の会	馬場吉隆	6人	0人	6人
小川町スキー連盟	野口吉彦	60人	7人	67人
小川町バドミントン連盟	千野秀夫	20人	24人	44人
小川相撲協会	瀬川 豊	21人	0人	21人
小川柔道会	利根田健次	40人	5人	45人
小川町剣道会	江口義徳	26人	5人	31人
小川弓道会	坂下 浩	17人	20人	37人
小川町サッカー協会	小川 昇	148人	4人	152人
小川町空手道連盟	千野幸次郎	42人	25人	67人
小川町硬式テニス協会	栗山好夫	48人	44人	92人
小川町ゴルフ協会	田端洋一	44人	10人	54人
小計1 競技団体(17団体)計		1,193人	325人	1,518人
小川町レクリエーション協会	会長：野澤 保雄			
小川町フォークダンス連盟	中嶋悦子	0人	23人	23人
小川町スポーツ推進委員協議会	島田勇子	11人	9人	20人
小川町インディアカ連盟	桜井 清	11人	20人	31人
小川町グラウンドゴルフ協会	野村市郎	234人	180人	414人
小川町ゲートボール連盟	高橋 勇	55人	65人	120人
小計2 レク部門団体(5団体)計		311人	297人	608人
総計(小計1+小計2)		1,504人	622人	2,126人

(3)小川町スポーツ少年団役員及び登録団一覧

平成28年5月20日現在

①役員

本部長： 小澤 弘

副本部長： 岩木 賢一 村田 正明 吉田 芳雄 飯塚 明美

監事： 石川 佳右 杉山 奨

幹事： 永田 光正 杉山 奨 吉田 芳雄

②登録団

団名	代表者名	団員数		指導者数	
		男	女	男	女
剣道第一スポーツ少年団	関口義雄	14人	3人	6人	2人
小川野球第一スポーツ少年団	島田孝行	19人	0人	7人	0人
小川野球第二スポーツ少年団	小澤 弘	17人	0人	10人	0人
八和田野球スポーツ少年団	湯本忠史	24人	0人	8人	0人
小川ジュニアテニススポーツ少年団	田中幸夫	24人	42人	16人	5人
小川サッカースポーツ少年団	杉山 奨	44人	4人	12人	0人
小川町空手道スポーツ少年団	吉田芳雄	5人	0人	2人	1人
小川町陸上競技スポーツ少年団	永田光正	19人	10人	16人	5人
ジャムパンジュニアバレーボールスポーツ少年団	岩木賢一	0人	8人	4人	1人
小川ドリームジュニアバドミントンスポーツ少年団	大橋輝雄	5人	10人	5人	0人
竹沢バレーボールスポーツ少年団	吉田安雄	3人	3人	3人	0人
永空館空手道スポーツ少年団	永島嘉四郎	5人	5人	2人	1人
みどりが丘FCスポーツ少年団	永井良文	30人	1人	14人	1人
小川レインボーミニバスケットボールスポーツ少年団	恒木重信	28人	9人	4人	1人
14団体合計		237人	95人	109人	17人
		332人		126人	

7 小川町内所在の指定文化財

(平成28年5月1日現在)

種別	名称	員数	所在地等	指定年月日
国 有形文化財 建造物	吉田家住宅	1棟	勝呂 424	平成元年5月19日
国 有形文化財 考古資料	石造法華経供養塔	1基	下里 1857 大聖寺	大正2年8月20日
	板碑	1基		昭和54年6月6日
国 記念物 史跡	比企城館跡群 小倉城跡	1カ所	下里 2997-1 他	平成20年3月28日
国 記念物 史跡	下里・青山板碑製作遺跡	1カ所	下里 2724-1 他	平成26年10月6日
国 無形文化財 工芸技術	細川紙	11人	細川紙技術者協会	昭和53年4月26日
県 有形文化財 建造物	八宮神社社殿及び青麻三光宮本殿	2棟	小川 991-1	平成24年3月16日
県 記念物 史跡	穴八幡古墳	1基	増尾 63-1 他	昭和34年3月20日
県 記念物 史跡	腰越城跡	1カ所	腰越 2375 他	平成4年3月11日
県 記念物 史跡	四ツ山城跡	1カ所	高見 1008 他	平成15年3月18日
県 記念物 旧跡	諏訪神社奉祀跡	1カ所	奈良梨 781 他	昭和36年9月1日
県 記念物 旧跡	仙覚律師遺跡	1カ所	大塚 351	昭和36年9月1日
県 記念物 天然記念物	堂平のヒカリゴケ自生地	1カ所	腰越	昭和6年3月31日
県 記念物 天然記念物	古寺鍾乳洞	1カ所	上古寺	昭和11年3月31日
県 記念物 天然記念物	下里の大モミジ	1本	下里 2582	昭和16年3月31日
県 記念物 天然記念物	下里のスダジイ林	1カ所	下里 1939	平成8年3月19日
町 有形文化財 絵画	武田信俊筆鷹絵図	2幅	上横田 1215 輪禅寺	昭和53年3月17日
町 有形文化財 絵画	絹本着色徳川家康画像	1幅	中爪 1042 普光寺	昭和53年3月17日
町 有形文化財 彫刻	龍谷薬師如来立像	1軀	小川 1353	昭和53年3月17日
町 有形文化財 彫刻	東昌寺薬師如来立像	1軀	角山 293 東昌寺	昭和53年3月17日
町 有形文化財 彫刻	安照寺木造阿弥陀如来立像	1軀	木部 31 安照寺	平成24年5月2日
町 有形文化財 工芸品	諏訪神社鰐口	1口	奈良梨 292-1 八和田神社	昭和53年3月17日
町 有形文化財 書跡	山岡鉄舟の白鳥神社の幟旗	1対	勝呂 310-1 白鳥神社	平成14年3月13日
町 有形文化財 書跡	山岡鉄舟の木呂子の幟旗(紙本)	1対	木呂子区	平成14年3月13日
町 有形文化財 古文書	岡本家文書		上古寺	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	笠原家文書		飯田	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	酒井家文書		増尾	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	鈴木家文書		奈良梨	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	福島家文書		腰越	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	松本家文書		上古寺	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	山口家文書		勝呂	昭和38年3月12日
町 有形文化財 古文書	横川家文書(写)	13点	腰越	平成4年3月25日
町 有形文化財 古文書	笠間家文書		小川	平成22年7月26日
町 有形文化財 古文書	小久保家文書		上古寺	平成22年7月26日
町 有形文化財 古文書	本多家文書		中爪	平成22年7月26日
町 有形文化財 歴史資料	青木てる肖像画付任命状	3点	小川	平成22年7月26日
町 有形文化財 歴史資料	日懽授与曼荼羅	1幅	大塚	平成24年5月2日
町 有形文化財 考古資料	円城寺板石塔婆	3基	青山 654 円城寺	昭和38年3月12日

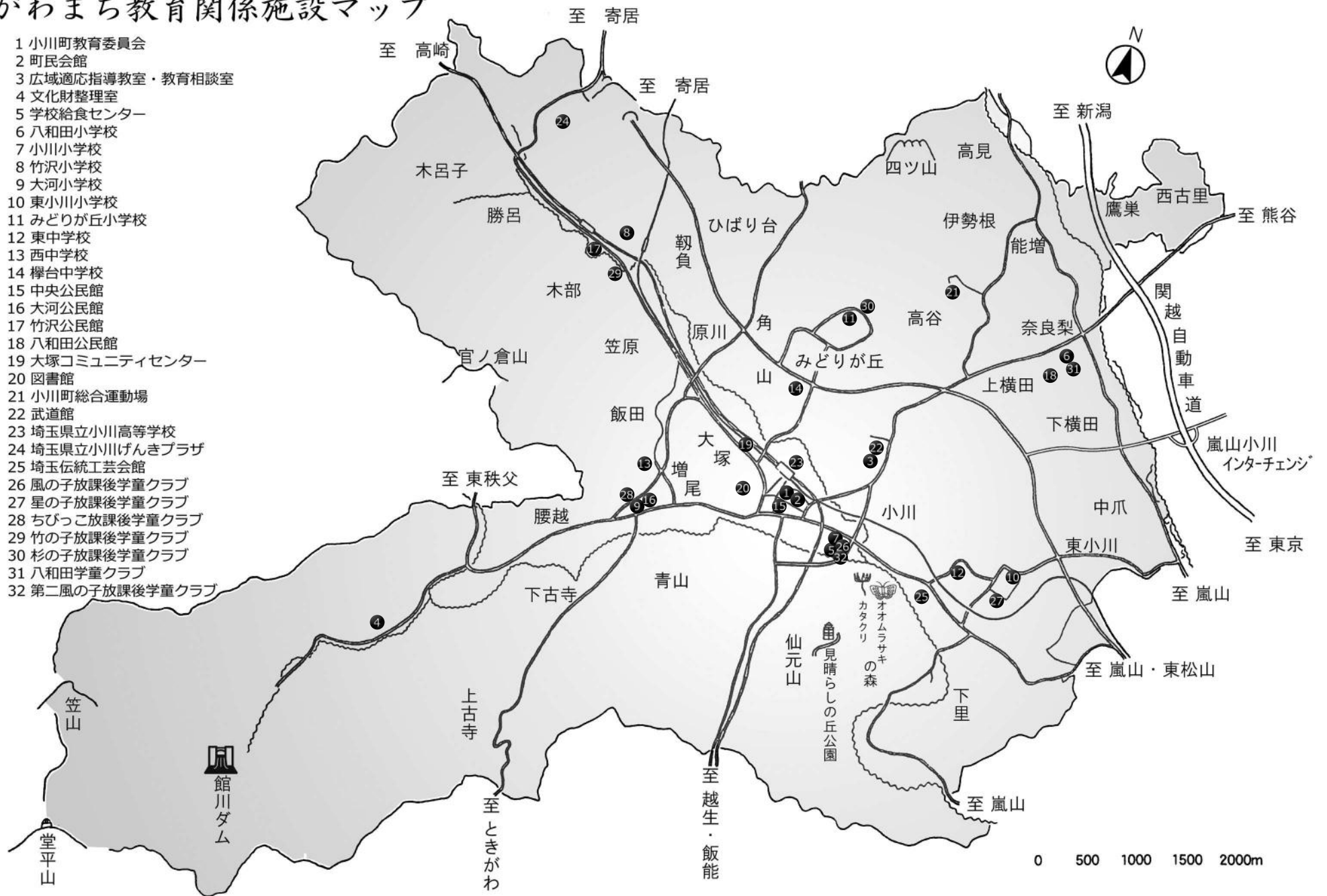
種別	名称	員数	所在地等	指定年月日
町 有形文化財 考古資料	大梅寺二連板石塔婆	1基	大塚 470 大梅寺	昭和53年3月17日
町 有形文化財 考古資料	大橋堂阿弥陀三尊種子板石塔婆	1基	青山 1520	昭和53年3月17日
町 有形文化財 考古資料	西古里地藏菩薩板石塔婆	1基	西古里 510	平成8年4月19日
町 有形文化財 考古資料	阿弥陀凶像板石塔婆	1基	下里 302-1	平成24年5月2日
町 有形文化財 考古資料	題目板石塔婆	1基	下里 1568-1	平成24年5月2日
町 有形文化財 考古資料	大梅寺無縫塔	1基	大塚 470 大梅寺	平成24年5月2日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り本一屋台	1基	本一	平成17年12月21日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り本二屋台	1基	本二	平成17年12月21日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り仲町屋台	1基	仲町	平成17年12月21日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り錦町屋台	1基	錦町	平成17年12月21日
町 民俗文化財 有形民俗文化財	小川祇園祭り相生町屋台	1基	相生町	平成17年12月21日
町 民俗文化財 無形民俗文化財	下里の獅子舞		下里獅子舞保存会	昭和44年6月26日
町 民俗文化財 無形民俗文化財	上古寺氷川神社のエンエンワ		因縁和無形文化財保存会	平成13年8月23日
町 記念物 歴史資料	飢饉警告之碑	1基	勝呂 810-2	昭和38年3月12日
町 記念物 史跡	武田氏一族の墓域	1か所	上横田 1215 輪禅寺	昭和53年3月17日
町 記念物 史跡	青山(割谷)城跡	1か所	青山 2292-2 他	平成4年3月25日
町 記念物 史跡	奈良梨陣屋跡	1か所	奈良梨 292-1 八和田神社	平成8年4月19日
町 記念物 史跡	行人塚塚群	1か所	上横田 689-1 他	平成14年3月13日
町 記念物 史跡	鎌倉街道上道跡	3か所	伊勢根・能増・奈良梨	平成14年3月13日
町 記念物 史跡	青山の百庚申付円城寺富士講碑	1か所	青山 2519	平成14年3月13日
町 記念物 史跡	下横田の百庚申	1か所	下横田 705-32	平成14年3月13日
町 記念物 史跡	中城跡	1か所	大塚 351 他	平成15年8月21日
町 記念物 天然記念物	熊野神社の大スギ	1本	靱負 343 熊野神社	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	白山神社の大カシ	1本	増尾 32 白山神社	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	八幡神社の大ケヤキ	1本	大塚 427 八幡神社	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	八和田神社の大スギ	1本	奈良梨 292-1 八和田神社	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	鈴木家の大クワ	1本	奈良梨 600	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	関根家のタイサンボク	1本	下里 1503	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	横川家のトチノキ	1本	腰越 2358	昭和53年3月17日
町 記念物 天然記念物	福島家のマキ	1本	腰越 2301	昭和63年2月14日
町 記念物 天然記念物	青山氷川神社の森	1か所	青山 1312 氷川神社	昭和63年2月14日
町 記念物 天然記念物	根岸山の大グミ	1本	靱負 730-1	昭和63年2月14日
町 記念物 天然記念物	自性院のカヤ	1本	腰越 323 自性院	昭和63年2月14日
町 記念物 天然記念物	三光神社の大スギ	1本	木部 459-1 三光神社	平成8年4月19日
町 記念物 天然記念物	笠山のブナ林	1か所	腰越 2793	平成14年3月13日
町 記念物 天然記念物	青山天満宮のヒサカキ	1本	青山 2452	平成17年3月28日

8 小川町教育・文化施設等一覧

No.	機 関 名	所 在 地	電 話 番 号	FAX番号
1	小川町教育委員会	大字大塚55	0493-72-1221	72-7144
	学校教育課 課長 学校教育担当 学校教育・教育総務担当		(内線270) (内線274・275) (内線271・272・273)	
	生涯学習課 課長 生涯学習・文化財担当 生涯スポーツ担当		(内線290) (内線291・292) (内線293・294)	
2	リックおがわ(町民会館)	大字大塚55	73-2711	74-5737
3	教育相談室	大字高谷2507-18	72-6859	72-6859
4	広域適応指導教室	大字高谷2507-18	72-6859	72-6859
5	文化財整理室	大字腰越1722	74-4449	
6	学校給食センター	大字小川377	72-0673	72-2044
7	八和田小学校	大字上横田527	72-3130	74-5162
8	小川小学校	大字小川377	72-0142	74-5163
9	竹沢小学校	大字木部90	73-1345	74-5165
10	大河小学校	大字腰越209	72-0068	74-5166
11	東小川小学校	東小川2-21	74-1662	74-5168
12	みどりが丘小学校	みどりが丘4-21-1	74-4381	74-5169
13	東中学校	大字小川1767-1	72-0442	74-5170
14	西中学校	大字増尾250	72-0899	74-5171
15	檮台中学校	大字角山1192	72-1192	74-1102
16	中央公民館	大字大塚33-2	72-0342	72-0384
17	大河公民館	大字腰越43	72-0031	72-0031
18	竹沢公民館	大字勝呂799	72-1174	72-1174
19	八和田公民館	大字上横田1776	73-0548	73-0548
20	大塚コミュニティセンター	大字大塚897-1	71-1061	71-1061
21	図書館	大字大塚99-1	72-5965	72-3185
22	小川町総合運動場	大字高谷141-1	74-2645	
23	武道館	大字高谷2510		
24	埼玉県立小川高等学校	大字大塚1105	72-1158	71-1045
25	埼玉県立小川げんきプラザ	大字木呂子561	72-2220	71-1043
26	私立おがわ幼稚園	大字大塚261	72-1105	
27	私立小川大芦幼稚園	大字中爪1909-4	74-0365	
28	埼玉伝統工芸会館	大字小川1220	72-1220	74-2636
29	風の子放課後学童クラブ	大字小川377	74-4965	74-4965
30	第二風の子放課後学童クラブ	大字小川377	74-1160	74-1160
31	星の子放課後学童クラブ	大字東小川2-10-1	74-6509	74-6509
32	ちびっこ放課後学童クラブ	大字腰越262-1	72-5902	72-5902
33	竹の子放課後学童クラブ	大字木部150-5	72-5727	72-5727
34	杉の子放課後学童クラブ	みどりが丘4-22-4	72-3404	72-3404
35	八和田学童クラブ	大字上横田471-6	74-3711	74-3711

武蔵の小京都 おがわまち教育関係施設マップ

- 1 小川町教育委員会
- 2 町民会館
- 3 広域適応指導教室・教育相談室
- 4 文化財整理室
- 5 学校給食センター
- 6 八和田小学校
- 7 小川小学校
- 8 竹沢小学校
- 9 大河小学校
- 10 東小川小学校
- 11 みどりが丘小学校
- 12 東中学校
- 13 西中学校
- 14 榎台中学校
- 15 中央公民館
- 16 大河公民館
- 17 竹沢公民館
- 18 八和田公民館
- 19 大塚コミュニティセンター
- 20 図書館
- 21 小川町総合運動場
- 22 武道館
- 23 埼玉県立小川高等学校
- 24 埼玉県立小川げんきプラザ
- 25 埼玉伝統工芸会館
- 26 風の子放課後学童クラブ
- 27 星の子放課後学童クラブ
- 28 ちびっこ放課後学童クラブ
- 29 竹の子放課後学童クラブ
- 30 杉の子放課後学童クラブ
- 31 八和田学童クラブ
- 32 第二風の子放課後学童クラブ



健康・スポーツの町宣言

緑と清流に恵まれた武蔵の小京都と呼ばれる私たちの町小川町、この美しい自然の中で健康で生活できることが私たちの願いです。

私たち小川町民は、ひとりひとりが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康でたくましい心とからだをつくるとともに、町民の交流を深め、明るく豊かな住みよい小川町を築くことを誓い、次の目標をかかげて、ここに「健康・スポーツの町」を宣言します。

- 1 すべての町民がスポーツを通じて、心身共に健康な人になりましょう。
- 1 すべての町民がスポーツを通じて、多くの友達をつくり、友情の輪を広げましょう。
- 1 すべての町民がスポーツを通じて、明るい豊かな町を築きましょう。

昭和60年10月10日制定

平成28年度 教育要覧「小川町の教育」

発行日／平成28年9月

発行／小川町教育委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221（代表）

URL <http://www.town.ogawa.saitama.jp>（小川町公式ホームページより）

E-Mailについては小川町公式ホームページお問い合わせフォームより

